

黒石市教育委員会告示第1号

黒石市教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、平成30年度黒石市教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書を作成したので、別紙のとおり告示する。

平成31年1月30日

黒石市教育委員会教育長 山内孝行

平成30年度

黒石市教育委員会の事務の点検
及び評価に関する報告書

(平成29年度事業分)

平成31年1月
黒石市教育委員会

ま え が き

黒石市教育委員会では、「黒石市教育大綱」に基づき、おもいやりにあふれ、誰もが安心して暮らせる共生社会の形成を願い、郷土に誇りをもち、多様性を尊重しながら、生きる力をもって主体的に新しい時代を切り拓く、心豊かでたくましい人づくりを目指しています。

そして、効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的に、事務が適切に実施されているか点検し、評価を行い、更に外部の学識経験者から評価を受け、その結果を報告書としてまとめております。

市民の皆様には、この報告書を御覧いただき、本市の教育と市教育委員会の取組みについて、少しでも理解を深めていただければ幸いです。

今後も、教育施策の推進に努めて参りますので、市民の皆様の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この報告書は、冊子によるほか、黒石市のホームページにより公表いたします。

平成31年1月

黒石市教育委員会

◇ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

第1章 黒石市教育大綱

1 目標	1
2 基本的な考え方	1
3 教育施策の4つの柱	1
4 計画期間	1
5 教育施策	1

第2章 教育委員会活動

1 組織体制	3
(1) 教育委員	3
(2) 教育委員会組織	3
(3) 教育委員会事務分掌	4
2 委員会の活動概要	8
(1) 教育委員会会議	8
(2) その他の教育委員の活動	12

第3章 点検及び評価結果

1 学校教育課	14
2 指導課	29
3 社会教育課	40
4 文化スポーツ課	68

第4章 事務点検評価委員による意見（総評）

黒石市教育委員会事務点検評価委員長 大澤 潤逸	86
黒石市教育委員会事務点検評価委員 久保 正彦	87
黒石市教育委員会事務点検評価委員 中村 康	88

第 1 章 黒石市教育大綱

平成 29 年 2 月 23 日策定

1 目標

心豊かな人を育てるまち黒石

2 基本的な考え方

おもいやりにあふれ、誰もが安心して暮らせる共生社会の形成を願い、郷土に誇りをもち、多様性を尊重しながら、生きる力をもって主体的に新しい時代を切り拓く、心豊かでたくましい人づくりを目指します。

3 教育施策の 4 つの柱

- (1) 夢や志の実現に向けた、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む学校教育の推進と安全で良好な教育環境の整備、充実に努めます。
- (2) 家庭や地域での学びを生かし、人と人とのつながりを大切にする社会教育の推進と地域を活性化するための支援を行います。
- (3) 歴史と文化を尊重し、感性と創造力を高める芸術文化活動の推進と地域の歴史・文化の保存と継承を図ります。
- (4) 心身の健康を保ち、活力と感動を生み出すスポーツ活動の推進と健康都市宣言に伴う教育環境の充実に努めます。

4 計画期間

大綱策定の日から平成 31 年 3 月まで

5 教育施策

(1) 夢や志の実現に向けた、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む学校教育の推進と安全で良好な教育環境の整備、充実に努めます。

【最重要項目】

◆ 確かな学力と豊かな人間性の育成

子どもたちが新しい時代を主体的に切り拓いていくための学力を育成するとともに、いじめ等のない楽しく充実した学校生活を送ることができるよう相談・支援体制の充実に努めます。

◆ 小・中 9 年間を見通した教育システムの推進

現在まで取り組んできた中学校学区ごとの小・中連携事業を継続しながら、本市にあった小・中一貫教育の構築を目指して研究を推進していきます。

◆ 小・中学校の適正配置の推進と実現

少子化傾向の中、充実した教育活動の実施と子どもたちの健全育成を図るために、小・中学校の統合による適正配置を進めていきます。

(2) 家庭や地域での学びを生かし、人と人とのつながりを大切にする社会教育の推進と地域を活性化するための支援を行います。

【最重要項目】

- ◆ いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習社会の実現
生涯学習社会を基盤として、子どもから高齢者まで全ての市民が参加し、学び、成長する地域社会の実現を図っていきます。
- ◆ 公民館を核とした地区協議会のコミュニティ活動の充実
10地区協議会それぞれのコミュニティ活動を活発化させ、地域の自治能力と教育力を高めるために、公民館を核として学びや活動の場の提供を拡充していきます。

(3) 歴史と文化を尊重し、感性と創造力を高める芸術文化活動の推進と地域の歴史・文化の保存と継承を図ります。

【最重要項目】

- ◆ 伝統的建造物群の保存と啓発
高橋家住宅・土蔵、鳴海氏庭園、こみせなど国指定の文化財が所在する黒石市中町伝統的建造物群保存地区の保存と市民への文化財意識の高揚を図っていきます。
- ◆ 芸術文化活動の支援
市民の芸術文化活動を支援し、感性と創造性を高める芸術文化の環境整備に努めます。

(4) 心身の健康を保ち、活力と感動を生み出すスポーツ活動の推進と健康都市宣言に伴う教育環境の充実に努めます。

【最重要項目】

- ◆ 一市民一スポーツの推進
子どもから高齢者まで、全ての市民が自分にあったスポーツに親しむことを通して健康長寿社会の実現を目指していきます。
- ◆ スポーツ施設の管理運営
指定管理者制度のもと、施設設備が有効に管理運営されるよう指導・支援をしていきます。
- ◆ 健康教育の推進
各学校において、生涯にわたって健康を維持していこうとする意識の向上と健康維持に向けた具体的な方法を身に付けることのできる授業を展開されるよう指導・助言を行っていきます。

第2章 教育委員会活動

1 組織体制

(1) 教育委員

職名	氏名	任期	備考
教育長	山内孝行	H28.11.21-H31.11.20(1期)	
委員	村上良子	H26.3.18-H30.3.17(2期)	職務代理者(～H30.3.17)
委員	駒井順一	H26.12.24-H30.12.23(1期)	
委員	宇野元雄	H28.11.21-H32.11.20(1期)	職務代理者(H30.3.18～)
委員	鈴木美香	H28.11.21-H31.11.20(1期)	

(2) 教育委員会組織

事務局	学校教育課	総務係、学務係
	指導課	
	社会教育課	社会教育係、地域支援係
	文化スポーツ課	文化スポーツ係、文化財係
教育機関	小学校(10校)	黒石小学校、六郷小学校、上十川小学校、中郷小学校、北陽小学校、東英小学校、牡丹平小学校、浅瀬石小学校、追子野木小学校、黒石東小学校
	中学校(2校)	黒石中学校、中郷中学校
	教育研究所	
	公民館(10館)	黒石公民館(休館)、中郷公民館、六郷公民館、山形公民館、浅瀬石公民館、東公民館、中部公民館、牡丹平公民館、追子野木公民館、上十川公民館
	ほるぷ子ども館	
委任機関	市民文化会館(休館)、スポカルイン黒石、西部地区センター、青少年相談センター、スポーツ交流センター、武道場、農村環境改善センター	

(3) 教育委員会事務分掌

学校教育課

総務係

- ・教育委員会の会議に関する事。
- ・教育委員の学校訪問に関する事。
- ・教育委員の庶務に関する事。
- ・規則及び規程の制定、改廃及び公布に関する事。
- ・公印の制定及び管理に関する事。
- ・職員(県費負担教職員を除く。)の任免その他の人事に関する事。
- ・教育行政についての総合的企画及び実施の調整に関する事。
- ・予算及び決算の総括に関する事。
- ・文書の收受に関する事。
- ・市立学校図書館図書購入基金に関する事。
- ・教育委員会事務点検評価に関する事。
- ・市立学校に係る財産の管理に関する事。
- ・市立学校の施設の営繕及び保全に関する事。
- ・市立学校の管理備品の整備に関する事。
- ・市立学校の施設の建築等に関する事。
- ・市立小学校及び中学校施設等の使用許可に関する事。
- ・市立学校の公有財産の取得及び用途廃止等に関する事。
- ・事務局内各課及び学校その他の教育機関との連絡調整に関する事。
- ・他の課に属しない事務に関する事。
- ・課の庶務に関する事。

学務係

- ・市立学校の設置及び廃止に関する事。
- ・区域外児童及び生徒の教育事務委託に関する事。
- ・通学区域に関する事。
- ・学級編制に関する事。
- ・児童、生徒及び幼児の就学並びに入学及び転学に関する事。
- ・教科用図書の給付及び給与に関する事。
- ・教材及び教具の整備等に関する事。
- ・就学援助及び特別支援教育就学奨励に関する事。

- ・ 県費負担教職員(以下「教職員」という。)の服務その他の人事に関する事。
- ・ 学校保健活動に関する事。
- ・ 学校給食に関する事。
- ・ 独立行政法人日本スポーツ振興センターに関する事。
- ・ 私立幼稚園の就園奨励に関する事。
- ・ 教育支援委員会に関する事。
- ・ 市立小学校及び中学校の適正配置に関する事。
- ・ その他学務に関する事。

指導課

- ・ 教育課程の編成、実施管理及び評価に関する事。
- ・ 学習指導、生徒指導及び進路指導等学校教育に係る指導に関する事。
- ・ 教職員の研修に関する事。
- ・ 研究発表会及び研究助成に関する事。
- ・ 教科用図書の採択に関する事。
- ・ 教科用図書及びその他の教材の取扱いに関する事。
- ・ 学校行事及び学校の休業に関する事。
- ・ 児童生徒の事故に関する事。
- ・ 教育研究団体の育成に関する事。
- ・ 幼稚園、小学校及び中学校の連携に関する事。
- ・ 幼稚園教育に係る専門的事項の指導に関する事。
- ・ 教育相談及び学習適応指導教室に関する事。
- ・ 外国語指導助手に係る事務及び活用に関する事。
- ・ 中学生海外派遣事業に関する事。

社会教育課

社会教育係

- ・ 社会教育行政の方針・計画の策定に関する事。
- ・ 社会教育委員に関する事。
- ・ 家庭教育の推進に関する事。
- ・ 成人教育に係る講座及び研修会に関する事。
- ・ 実年式に関する事。
- ・ 青少年育成に係る講座及び研修会に関する事。
- ・ 成人式に関する事。

- ・青少年団体の育成に関する事。
- ・高校生ボランティア活動及び同表彰審査会に関する事。
- ・市子ども会育成連合会に関する事。
- ・青少年相談センターに関する事。
- ・青少年の健全育成に関する事。
- ・青少年の海外派遣に関する事。
- ・市民文化会館に関する事。

地域支援係

- ・コミュニティ活動の支援に関する事。
- ・学校教育・社会教育の連携推進に関する事。
- ・社会教育施設の整備計画等に関する事。
- ・公民館の指定管理及び運営に関する事。
- ・農村環境改善センター・北地区小体育館・西部地区センターの指定管理及び運営に関する事。
- ・スポカルイン黒石図書コーナーに関する事。
- ・ほるぷ子ども館に関する事。
- ・地区連絡協議会・市連合PTAの支援及び助言並びに連絡調整に関する事。
- ・市連合婦人会及び婦人会館に関する事。
- ・読書活動の推進及び読書グループに関する事。
- ・視聴覚教育に関する事。
- ・生涯学習に関する事。
- ・課の庶務に関する事。
- ・その他の社会教育に関する事。

文化スポーツ課

文化スポーツ係

- ・文化及び芸術の振興並びに団体育成に関する事。
- ・文化賞等及び同受賞者審議会に関する事。
- ・幼稚園及び小・中学生団体鑑賞の企画実施に関する事。
- ・市史その他歴史に関する刊行物の編さんに必要な資料の収集、整理及び保管並びに調査に関する事。
- ・生涯スポーツの振興に関する事。
- ・スポカルイン黒石に関する事。
- ・スポーツ交流センターに関する事。

- ・黒石運動公園有料都市公園施設に関する事。
- ・市立武道場に関する事。
- ・スポーツ行事の実施及び奨励に関する事。
- ・スポーツ団体の育成指導及び連絡調整に関する事。
- ・スポーツ賞等及び同受賞者審議会に関する事。
- ・スポーツ推進委員に関する事。
- ・学校体育施設の開放に関する事。
- ・その他文化、芸術及びスポーツに関する事。
- ・課の庶務に関する事。

文化財係

- ・文化財の保護及び活用に関する事。
- ・文化財の調査及び報告に関する事。
- ・文化財の指定及び解除に関する事。
- ・文化財保護審議会に関する事。
- ・伝統芸能の保存及び育成に関する事。
- ・伝統的建造物群保存事業に関する事。
- ・歴史的景観保存審議会に関する事。
- ・その他文化財に関する事。

2 委員会の活動概要

(1) 教育委員会会議

会 議	議案番号等	案 件 等	結果	開催日
第4回 定例会	報告第1号	臨時代理した事務の報告について（処分第1号 健康管理医の委嘱について）	報告	H29. 4. 26
	議案第34号	黒石市文化財の指定について	可決	
	議案第35号	黒石市いじめ問題対策審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第36号	黒石市家庭教育推進協議会委員の委嘱について	可決	
	議案第37号	黒石市家庭教育推進協議会委員の委嘱について	可決	
	議案第38号	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員に係る懲戒処分等について	可決	
第5回 定例会	報告第2号	臨時代理した事務の報告について（処分第2号 黒石市教育委員会の課長級以上の職員の任免について）	報告	H29. 5. 25
	議案第39号	黒石市教育委員会事務局の組織等に関する規則の一部改正について	可決	
	議案第40号	黒石市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について	可決	
	議案第41号	教育財産の用途廃止について	可決	
	議案第42号	教育財産の用途廃止について	可決	
	議案第43号	教育財産の用途廃止について	可決	
	議案第44号	教育財産の用途廃止について	可決	
	議案第45号	黒石市教育支援委員会委員の委嘱について	可決	
	議案第46号	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員に係る懲戒処分等について	可決	
第6回 定例会	報告第3号	臨時代理した事務の報告について（処分第3号 平成29年第2回黒石市議会定例会に提出する議案に対する意見について）	報告	H29. 6. 27
	議案第47号	黒石市立小学校在学児童に対する通級指導事務取扱要綱の制定について	可決	
	議案第48号	黒石市外の小学校在学児童に対する通級指導事務取扱要綱の制定について	可決	
	議案第49号	黒石市立牡丹平公民館長の任命について	可決	
	議案第50号	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員に係る懲戒処分等について	可決	
第7回 定例会	報告第4号	臨時代理した事務の報告について（処分第4号 黒石市教育委員会の課長級以上の職員の任免について）	報告	H29. 7. 25
	議案第51号	黒石市社会教育委員の委嘱について	可決	

会 議	議案番号等	案 件 等	結果	開催日
	議案第 52 号	平成 3 0 年度使用小・中学校教科用図書の採択について	可決	
	議案第 53 号	平成 3 0 年度使用小学校用道徳科教科用図書の採択について	可決	
	議案第 54 号	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員に係る懲戒処分等について	可決	
第 8 回 定例会	議案第 55 号	黒石市スポーツ推進計画策定委員会規則の制定について	可決	H29. 8. 28
	議案第 56 号	平成 2 9 年第 3 回黒石市議会定例会に提出する議案に対する意見について	可決	
第 9 回 定例会	議案第 57 号	黒石市スポーツ推進計画策定委員の委嘱について	可決	H29. 9. 27
	議案第 58 号	黒石市スポーツ推進計画策定委員の委嘱について	可決	
	議案第 59 号	黒石市スポーツ推進計画策定委員の委嘱について	可決	
	議案第 60 号	黒石市スポーツ推進計画策定委員の委嘱について	可決	
	議案第 61 号	黒石市スポーツ推進計画策定委員の委嘱について	可決	
	議案第 62 号	黒石市スポーツ推進計画策定委員の委嘱について	可決	
	議案第 63 号	黒石市スポーツ推進計画策定委員の委嘱について	可決	
	議案第 64 号	黒石市スポーツ推進計画策定委員の委嘱について	可決	
	議案第 65 号	黒石市スポーツ推進計画策定委員の委嘱について	可決	
	議案第 66 号	黒石市スポーツ推進計画策定委員の委嘱について	可決	
	議案第 67 号	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員に係る懲戒処分等について	可決	
第 10 回 定例会	議案第 68 号	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員に係る懲戒処分等について	可決	H29. 10. 25
第 11 回 定例会	議案第 69 号	黒石市高校生ボランティア表彰審査会委員の委嘱について	可決	H29. 11. 28
	議案第 70 号	黒石市高校生ボランティア表彰審査会委員の委嘱について	可決	
	議案第 71 号	黒石市高校生ボランティア表彰審査会委員の委嘱について	可決	
	議案第 72 号	黒石市高校生ボランティア表彰審査会委員の委嘱について	可決	
	議案第 73 号	黒石市高校生ボランティア表彰審査会委員の委嘱について	可決	
	議案第 74 号	黒石市高校生ボランティア表彰審査会委員の委嘱について	可決	
	議案第 75 号	黒石市高校生ボランティア表彰審査会委員の委嘱について	可決	
	議案第 76 号	平成 2 9 年第 4 回黒石市議会定例会に提出する議案に対する意見について	可決	

会 議	議案番号等	案 件 等	結果	開催日
	議案第 77 号	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員に係る懲戒処分等について	可決	
	議案第 78 号	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員に係る懲戒処分等について	可決	
第 12 回 定例会	議案第 79 号	黒石市高校生ボランティア活動表彰条例施行規則の一部改正について	可決	H29. 12. 25
	議案第 80 号	黒石市文化賞等受賞者審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 81 号	黒石市文化賞等受賞者審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 82 号	黒石市文化賞等受賞者審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 83 号	黒石市文化賞等受賞者審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 84 号	黒石市文化賞等受賞者審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 85 号	黒石市文化賞等受賞者審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 86 号	黒石市文化賞等受賞者審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 87 号	黒石市文化賞等受賞者審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 88 号	黒石市スポーツ賞等受賞者審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 89 号	黒石市スポーツ賞等受賞者審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 90 号	黒石市文化財保護審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 91 号	黒石市文化財保護審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 92 号	黒石市文化財保護審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 93 号	黒石市文化財保護審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 94 号	黒石市文化財保護審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 95 号	黒石市文化財保護審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 96 号	黒石市文化財保護審議会委員の委嘱について	可決	
議案第 97 号	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員に係る懲戒処分等について	可決		
第 1 回 定例会	議案第 1 号	黒石市教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書について	可決	H30. 1. 25
	議案第 2 号	平成 29 年度黒石市文化奨励賞受賞者の決定について	可決	
	議案第 3 号	平成 29 年度黒石市スポーツ賞等受賞者の決定について	可決	
第 1 回 臨時会	議案第 4 号	黒石市立小学校及び中学校の校長及び教頭の異動に係る内申について	可決	H30. 2. 21
第 2 回 定例会	報告第 1 号	臨時代理した事務の報告について（処分第 1 号 黒石市教育委員会の課長級以上の職員の任免について）	報告	H30. 2. 27

会 議	議案番号等	案 件 等	結果	開催日
	議案第 5 号	黒石市教育委員会公印規則の一部改正について	可決	
	議案第 6 号	黒石市立小・中学校の通学区域に関する規則の一部改正について	可決	
	議案第 7 号	黒石市歴史文化専門員設置規則の一部改正について	可決	
	議案第 8 号	黒石市建造物専門員設置規則の廃止について	可決	
	議案第 9 号	黒石市スポーツ推進計画の策定について	可決	
	議案第 10 号	平成 3 0 年第 1 回黒石市議会定例会に提出する議案に対する意見について	可決	
	議案第 11 号	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員に係る懲戒処分等について	可決	
	議案第 12 号	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員に係る懲戒処分等について	可決	
第 2 回 臨時会	議案第 13 号	平成 3 0 年度黒石市教育委員会の課長級以上の職員の任免について	可決	H30. 3. 20
第 3 回 定例会	議案第 14 号	黒石市立小・中学校の通学区域に関する規則の一部改正について	可決	H30. 3. 26
	議案第 15 号	黒石市教育委員会委員学校訪問実施要綱の一部改正について	可決	
	議案第 16 号	平成 3 0 年度黒石市学校教育指導の方針と重点について	可決	
	議案第 17 号	黒石市いじめ防止基本方針の改定について	可決	
	議案第 18 号	黒石市立六郷公民館長の任命について	可決	
	議案第 19 号	黒石市西部地区センター所長の任命について	可決	
	議案第 20 号	黒石市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について	可決	
	議案第 21 号	黒石市立学校職員健康管理医の委嘱について	可決	
	議案第 22 号	黒石市社会教育委員の委嘱について	可決	
	議案第 23 号	黒石市社会教育委員の委嘱について	可決	
	議案第 24 号	黒石市社会教育委員の委嘱について	可決	
	議案第 25 号	黒石市社会教育委員の委嘱について	可決	
	議案第 26 号	黒石市社会教育委員の委嘱について	可決	
	議案第 27 号	黒石市社会教育委員の委嘱について	可決	
	議案第 28 号	黒石市社会教育委員の委嘱について	可決	
	議案第 29 号	黒石市社会教育委員の委嘱について	可決	

会 議	議案番号等	案 件 等	結果	開催日
	議案第 30 号	黒石市歴史的景観保存審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 31 号	黒石市歴史的景観保存審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 32 号	黒石市歴史的景観保存審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 33 号	黒石市歴史的景観保存審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 34 号	黒石市歴史的景観保存審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 35 号	黒石市歴史的景観保存審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 36 号	黒石市歴史的景観保存審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 37 号	黒石市歴史的景観保存審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 38 号	黒石市歴史的景観保存審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 39 号	黒石市歴史的景観保存審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 40 号	黒石市歴史的景観保存審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 41 号	黒石市歴史的景観保存審議会委員の委嘱について	可決	
	議案第 42 号	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員に係る懲戒処分等について	可決	

(2) その他の教育委員の活動

年	月	活 動 内 容
平成29年	4月	青森県市町村教育委員会連絡協議会理事会
	5月	青森県市町村教育委員会連絡協議会定期総会
	9月	南地方市町村教育委員会連絡協議会秋季研修会 市立学校訪問（小学校8校）
	10月	黒石市立上十川小学校閉校記念式典 黒石市立六郷小学校閉校記念式典 市立学校訪問（小学校2校・中学校2校）
	12月	実年式
平成30年	1月	成人式
	2月	平成29年度黒石市文化・スポーツ賞等授与式
	3月	市立学校卒業式

第3章 点検及び評価結果

点検評価表の説明

〔予算欄〕

当 初 平成29年度の当初予算額

決 算 平成29年度の決算額

執行率 執行率(%) = (決算 ÷ 当初) × 100 ※小数点第2位を四捨五入

〔事業計画欄〕

平成29年度当初予算要求時の事業計画

〔事業実績欄〕

平成29年度事業計画に対しての実績

〔自己評価欄〕

平成29年度の事業実績について内部評価した結果を掲載。評価値は、次の基準による。

S = 期待以上の成果があった。

A = 期待どおり達成できた。

※事業の達成率100%で、問題点がない。

B = 事業はおおむね達成できたが、更なる向上を目指す余地がある。

※事業の達成率が100%とはいいい難い。

C = 事業の一部見直し又は手法に関する改善が必要。

D = 事業廃止を含めた事業全体の見直しが必要。

〔評価理由〕

自己評価値の選択理由を掲載

〔問題点欄〕

自己評価値がB以下の場合、A以上にならなかった理由（問題や課題）を掲載

〔外部評価欄〕

教育委員会事務点検評価委員会委員の評価を掲載。評価値は、次の基準による。

S = 期待以上に優れている

A = 良好

B = おおむね良好

C = 良好とはいいい難い

D = 不良

1 学校教育課

事業名	教育委員会費管理事業			【継続】		
予算	当初	2,570千円	決算	2,337千円	執行率	90.9%
事業計画	① 教育委員の報酬及び費用弁償の管理 ② 会議開催等に伴う事務及び経費の管理					
事業実績	① 教育委員の報酬及び費用弁償の管理 ・ 委員報酬（4名×12か月） 1,857,600円 ・ 費用弁償 18,827円 ② 会議開催等に伴う事務及び経費の管理 ・ 消耗品費 17,876円 ・ 通信運搬費 5,798円 ・ 南地方市町村教育委員会連絡協議会負担金 425,000円 ・ 青森県市町村教育委員会連絡協議会負担金 11,700円					
自己評価	A					
評価理由	計画に沿って遅滞なく事務を行うことができた。					
問題点	なし					
今後の取組	今後も適切に事業を行っていく。					
外部評価	A					

事業名	総務管理事業			【継続】		
予算	当初	9,800千円	決算	10,954千円	執行率	111.8%
事業計画	① 教育委員会事務点検評価に関する事務及び経費の管理 ② 健康管理医に関する事務及び経費の管理 ③ 学校教育課職員の人件費管理 ④ 教育委員会事務局共通の事務及び経費の管理					
事業実績	① 教育委員会事務点検評価に関する事務及び経費の管理 ・ 委員報酬及び費用弁償 50,740円 ② 健康管理医に関する事務及び経費の管理 ・ 健康管理医報酬 480,000円 ③ 学校教育課職員の人件費管理 ・ 時間外勤務手当 1,454,147円 ・ 臨時事務員賃金及び社会保険料 1,444,741円 ・ 普通旅費（教育長会議出席等） 26,817円 ④ 教育委員会事務局共通の事務及び経費の管理					

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消耗品費（用紙類、教育関係法規等追録、清掃用具等） 2,017,574円 ・ 燃料費（ガソリン、灯油等） 839,083円 ・ 食糧費（中南管内教育長会議懇親会費等） 18,502円 ・ 印刷製本費（学校日誌印刷） 15,552円 ・ 光熱水費（旧黒石幼稚園水道料及び電気料） 85,361円 ・ 通信運搬費（電話料、郵送料） 227,181円 ・ 手数料（教育長室来客用椅子カバークリーニング） 8,250円 ・ 保険料（公有建物災害共済） 1,174,345円 ・ 委託料（教育施設廃棄物収集運搬業務等） 1,418,031円 ・ 賃借料（複写機、公用車等） 648,160円 ・ 事務室移転に伴う警備機器設置工事 140,400円 ・ 負担金（津軽南地区教科用図書採択協議会等） 181,233円 ・ 補助金（南地方中学校体育連盟等） 163,500円 ・ 市立学校図書館図書購入基金積立金 560,015円 <p>※ 執行率について 事務室移転後の維持管理に伴う経費の増額補正及び寄附から基金へ積立てを行ったことにより、執行率が100%を超えた。</p>
自己評価	A
評価理由	関係各課と連携しながら、計画に沿って遅滞なく事務を行うことができた。
問題点	なし
今後の取組	今後も適切に事業を行っていく。
外部評価	A

事業名	教育支援委員会事業			【継続】		
予算	当初	334千円	決算	276千円	執行率	82.6%
事業計画	① 教育支援委員の報酬及び費用弁償の管理 ② 委員会活動に伴う事務及び経費の管理					
事業実績	総合診断依頼 就学前児童 10名 中学校進学前児童 5名 通常学級児童生徒 14名 ① 教育支援委員の報酬及び費用弁償の管理 ・ 専門員による調査 H29.6- H29.12 29件 ・ 専門員会議（専門員12名） 6回 29件（会議後1件依頼取消し） ・ 教育支援委員会による審議（委員14名） H29.6-H30.1 6回 28件 費用弁償 43,919円					

	報酬	64,000円
	② 委員会活動に伴う事務及び経費の管理	
	消耗品費（検査の手引き、検査用紙、記録用紙）	58,212円
	手数料（診断書料） 16件	109,765円
自己評価	A	
評価理由	教育支援委員会の専門的審議を経て、適正な判断と細やかな就学相談を実施し、保護者及び児童生徒が希望する学校へ就学することについて合意形成を図ることができた。また、専門員に対し心理検査の講習会を実施し、専門的知識のレベルアップに努めることができた。	
問題点	なし	
今後の取組	特別な支援を要する児童生徒は年々増加しており、教育支援委員会に諮るための資料整備を行う専門員の需要が高まることから、業務を円滑に行うために研修会を開催するなど工夫する。	
外部評価	A	

事業名	就学前児童事業			【継続】		
予算	当初	814千円	決算	705千円	執行率	86.6%
事業計画	① 就学前児童を対象とした健康診断等の事務及び経費の管理					
事業実績	① 就学前児童を対象とした健康診断等の事務及び経費の管理					
	・新入学児童の健康診断を小学校9校で実施					
	医師報酬				540,000円	
	消耗品費等（事務的経費）				73,008円	
	賃借料（医師送迎車、健診器具）				91,415円	
自己評価	A					
評価理由	学校保健安全法に基づき適切に実施することができた。					
問題点	なし					
今後の取組	今後も学校保健安全法に基づき適切に事業を行っていく。					
外部評価	A					

事業名	私学助成事務事業			【継続】		
予算	当初	5,129千円	決算	3,551千円	執行率	69.2%

事業計画	① 私立幼稚園保育料減免措置への支援及び補助金の交付
事業実績	① 私立幼稚園保育料減免措置への支援及び補助金の交付 ・補助金交付 1校 25名 ※ 執行率について 転出等により対象者が減ったことに伴い、支出額も減ったため。
自己評価	A
評価理由	多子世帯の優遇措置の拡大により、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。
問題点	なし
今後の取組	保護者の経済的負担の軽減を図るため、実情の把握に努めながら、子どもが一定の教育を受けられるよう国の基準に沿い進めていく。
外部評価	A

事業名	学校適正配置事業	【継続】
予算	当初 406千円	決算 170千円 執行率 41.9%
事業計画	① 統合準備委員会等への出席及び資料作成等	
事業実績	① 統合準備委員会等への出席及び資料作成等 ・統合準備委員会への出席 5回 ・新六郷小学校スクールバス保護者説明会の開催 1回 ・関係資料の作成 ※ 執行率について 会議及び説明会は時間外に実施している。事業予算の全てが時間外勤務手当であるが、当初見込まれた時間数を下回ったことにより支出額が減。	
自己評価	A	
評価理由	新六郷小学校、新黒石小学校、新黒石東小学校の各統合準備委員会を定期的 に実施し、計画していた事業を十分に実施することができた。	
問題点	なし	
今後の取組	平成32年度に統合を控えている各小学校についても、遅滞なく準備を進め、 統合校への円滑な移行を図る。	
外部評価	A	

事業名	事務局管理費管理事業（小学校・中学校）	【継続】
-----	---------------------	------

予 算	当初 小99,777千円 中34,019千円	決算 小102,476千円 中37,479千円	執行率 小102.7% 中110.2%
事業計画	① 学校運営に必要な事務及び経費の管理 <ul style="list-style-type: none"> ・臨時用務員の配置 ・重油、灯油、電気、水道料金等の管理 ・施設等の修繕及び工事 ・学校警備等の委託 ・複写機等のリース ・学校備品の購入 		
事業実績	① 学校運営に必要な事務及び経費の管理 小学校 10校 <ul style="list-style-type: none"> ・臨時用務員の配置（賃金、社会保険料、時間外勤務手当） 11,336,593円 ・重油、灯油、電気、水道料金等の管理 <ul style="list-style-type: none"> 燃料費（灯油、重油等） 15,701,623円 光熱水費（電気料、水道料） 36,318,972円 その他（電話料等） 1,833,739円 ・施設等の修繕及び工事 <ul style="list-style-type: none"> 修繕 106件（照明・暖房器具修繕、ガラス取替等） 9,132,066円 工事 1件（コンベクションオープン取替工事） 1,080,000円 ・学校警備等の委託 <ul style="list-style-type: none"> 機械警備 5,598,720円 保守点検等委託料 13,691,136円 （消防設備等点検業務、自家用電気工作物保安管理業務、浄化槽清掃維持管理業務、ダムウエーター保守点検業務、エレベーター保守点検業務、空調保守点検業務、水槽清掃・水質検査業務、真空式温水器保守点検業務、遊戯施設安全点検業務、体育施設安全点検業務、プールメンテナンス業務、校庭樹木薬剤散布業務窓、ガラス清掃業務等） ・複写機等のリース 3,857,002円 ・学校備品の購入（机、椅子、工具等） 3,925,908円 中学校 2校 <ul style="list-style-type: none"> ・臨時用務員の配置（賃金、社会保険料、時間外勤務手当） 3,713,078円 ・灯油、電気、水道料金等の管理 <ul style="list-style-type: none"> 燃料費（灯油等） 4,823,937円 光熱水費（電気料、水道料） 15,508,636円 その他（電話料等） 826,983円 ・施設等の修繕及び工事 <ul style="list-style-type: none"> 修繕 29件（舗装補修、誘導灯修繕、除雪機修理等） 2,141,446円 工事 0件 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・学校警備等の委託 <ul style="list-style-type: none"> 機械警備 2,239,488円 保守点検等委託料 6,057,011円 (消防設備等点検業務、自家用電気工作物保安管理業務、浄化槽清掃維持管理業務、空調保守点検業務、水槽清掃・水質検査業務、遊戯施設安全点検業務、体育施設安全点検業務、校庭樹木薬剤散布業務窓、ガラス清掃業務等) ・複写機等のリース 1,338,474円 ・学校備品の購入(刈り払い機、机等) 829,677円 <p>※ 執行率について 燃料費単価の高騰及び電気料の不足による増額補正のため、100パーセントを超えた。</p>
自己評価	A
評価理由	学校と連絡を密にし、協力し合いながら、学校の維持管理に必要な事務及び予算の執行を滞りなく行うことができた。
問題点	なし
今後の取組	今後も学校と協力し合いながら、学校の維持管理に必要な事務と予算の執行を行っていく。
外部評価	A

事業名	校務情報化整備事業(小学校・中学校)			【継続】
予算	当初 小551千円 中5,907千円	決算 小547千円 中5,859千円	執行率	小99.3% 中99.2%
事業計画	① 校務の情報化を推進するための環境整備 ・ライセンス等の管理 ・校務用パソコンの購入(中学校)			
事業実績	① 校務の情報化を推進するための環境整備 小学校 ・ライセンス等の管理 274,825円 ・プロバイダー使用料 272,160円 中学校 ・ライセンス等の管理 129,449円 ・プロバイダー使用料 58,968円 ・校務用パソコンの購入(中学校) 5,670,000円			
自己評価	A			

評価理由	校務の情報化を推進するための環境整備が図られた。
問題点	なし
今後の取組	効率的な校務処理と、その結果生み出される教育活動の質の向上のため、今後も学校の校務情報化を図るための整備を進めていく。
外部評価	A

事業名	給食事業（小学校）			【継続】																		
予算	当初 24,552千円	決算 20,385千円	執行率	83.0%																		
事業計画	① 自校式給食実施校に栄養士及び調理員等を配置 ② 給食用備品の購入																					
事業実績	① 自校式給食実施校に栄養士及び調理員等を配置 <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="padding-left:20px;">・ 社会保険料</td> <td style="text-align:right;">1,592,861円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left:20px;">・ 賃金</td> <td style="text-align:right;">10,022,330円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left:20px;">・ 普通旅費</td> <td style="text-align:right;">13,542円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left:20px;">・ 腸内細菌検査料</td> <td style="text-align:right;">120,528円</td> </tr> </table> ② 給食用備品の購入 <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="padding-left:20px;">・ 学校給食用備品</td> <td style="text-align:right;">7,909,882円</td> </tr> </table> ③ その他 <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="padding-left:20px;">・ 六郷小学校給食再開に向けた給食練習用材料費</td> <td style="text-align:right;">158,025円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left:20px;">・ 六郷小学校牛乳保冷庫移設業務</td> <td style="text-align:right;">47,520円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left:20px;">・ 給食残滓汲取り清掃</td> <td style="text-align:right;">289,440円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left:20px;">・ 厨房施設防鼠・殺虫駆除業務委託料</td> <td style="text-align:right;">230,256円</td> </tr> </table>				・ 社会保険料	1,592,861円	・ 賃金	10,022,330円	・ 普通旅費	13,542円	・ 腸内細菌検査料	120,528円	・ 学校給食用備品	7,909,882円	・ 六郷小学校給食再開に向けた給食練習用材料費	158,025円	・ 六郷小学校牛乳保冷庫移設業務	47,520円	・ 給食残滓汲取り清掃	289,440円	・ 厨房施設防鼠・殺虫駆除業務委託料	230,256円
・ 社会保険料	1,592,861円																					
・ 賃金	10,022,330円																					
・ 普通旅費	13,542円																					
・ 腸内細菌検査料	120,528円																					
・ 学校給食用備品	7,909,882円																					
・ 六郷小学校給食再開に向けた給食練習用材料費	158,025円																					
・ 六郷小学校牛乳保冷庫移設業務	47,520円																					
・ 給食残滓汲取り清掃	289,440円																					
・ 厨房施設防鼠・殺虫駆除業務委託料	230,256円																					
自己評価	A																					
評価理由	栄養士及び調理員等の衛生管理をしつつ適正に配置できた。 六郷小学校の給食を再開できた。																					
問題点	なし																					
今後の取組	給食事業に必要な維持管理等を適切に行っていく。また、平成32年度からの小学校完全給食実施に向けた準備を進めていく。																					
外部評価	A																					

事業名	健康管理事業（小学校・中学校）			【継続】
予算	当初 小16,003千円	決算 小14,701千円	執行率	小91.9%

	中4,864千円	中4,214千円	中86.6%
事業計画	① 嘱託医の配置 ② 児童生徒及び教職員の健康診断を実施 ③ 通学・就業時の安全対策		
事業実績	① 嘱託医の配置 小学校 10,530,000円 中学校 2,106,000円 ② 児童生徒及び教職員の健康診断を実施 小学校 2,649,331円 中学校 1,279,893円 ③ 通学・就業時の安全対策 小学校 ・消耗品費（黄色安全帽等） 147,162円 ・交通災害共済保険料 69,000円 ・日本スポーツ振興センター負担金 1,305,310円 中学校 ・消耗品費（環境衛生検査用品） 2,160円 ・日本スポーツ振興センター負担金 825,605円		
自己評価	A		
評価理由	学校保健安全法に基づき、健康診断等の保健活動を実施することができた。 また、全児童生徒には、学校生活での災害に対する給付制度加入し、小学校1年生は、通学中の事故に対する保険に全員が加入するなどして、事故に対する補償を備えることができた。		
問題点	なし		
今後の取組	健康診断等の保健活動及び児童生徒に対する安全対策を適切に行っていく。		
外部評価	A		

事業名	児童・生徒送迎事業（小学校・中学校）			【継続】
予算	当初 小3,629千円 中18,180千円	決算 小2,969千円 中15,364千円	執行率	小81.8% 中86.3%
事業計画	① 遠距離通学の児童送迎 ② スクールバスの検討及び導入			
事業実績	① 遠距離通学の児童送迎 小学校			

	<ul style="list-style-type: none"> ・厚目内地区児童送迎委託料 1,053,000円 ・大川原地区児童送迎委託料 1,480,470円 ・安入内地区児童送迎委託料 434,700円 <p>② スクールバスの検討及び導入</p> <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒石中学校生徒用定期乗車券購入 8,876,280円 ・黒石中学校スクールバス運行等業務委託 6,464,430円 ・臨時バス借上料 346,150円
自己評価	A
評価理由	統合により遠距離通学となった旧六郷中地区及び旧東英中地区の生徒を対象にスクールバスの運行及び路線バス定期券の購入を実施した。また、山間部児童生徒を対象にタクシー送迎を実施した。これにより、児童生徒が安心して通学できる環境を確保することができた。
問題点	なし
今後の取組	新たな統合により遠距離通学となる児童のスクールバス通学の計画を遅滞なく進め、円滑な運行実施に向けて取り組んでいく。
外部評価	A

事業名	特別支援教育支援員配置事業（小学校・中学校）			【継続】
予算	当初 小16,861千円 中5,649千円	決算 小14,266千円 中6,942千円	執行率	小84.6% 中122.9%
事業計画	① 特別支援教育支援員の配置			
事業実績	<p>① 特別支援教育支援員の配置</p> <p>小学校 7校 11名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 12,366,360円 ・社会保険料 1,870,356円 ・費用弁償（校外活動支援等） 28,752円 <p>中学校 2校 5名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 6,000,000円 ・社会保険料 940,535円 ・費用弁償（校外活動支援等） 880円 <p>※ 執行率について</p> <p>当初予算作成時には小学校12名、中学校4名の配置を計画したが、最終的に検討した結果、小学校を1名減らし中学校を1名増やした配置が適切であると判断し補正を行ったため、中学校の執行率が100%を超えた。</p>			

自己評価	A
評価理由	予算が限られており、特別な支援を必要とする児童生徒に対し、特別支援教育支援員が不足している実情はあるが、学校側の理解と協力を得ながら、できる範囲で支援員を配置することができた。
問題点	なし
今後の取組	特別支援教育支援員の増員が望ましいが、これからも限られた予算内で適切な配置に努める。
外部評価	A

事業名	事務局振興費管理事業（小学校・中学校）			【継続】
予算	当初 小24,998千円 中9,076千円	決算 小25,032千円 中8,883千円	執行率	小100.1% 中97.9%
事業計画	① 教育用パソコンの整備及び管理 ② 教材備品等の購入 ③ 文化・スポーツ活動で全国大会等に出場するための経費の一部を助成			
事業実績	① 教育用パソコンの整備及び管理 小学校 ・教育用パソコンリース 5校 13,361,544円 ・教育用パソコン保守業務委託 5校 3,255,552円 ・教育用パソコン機器再構築業務委託 3校 3,356,640円 中学校 ・教育用パソコンリース 2校 5,967,000円 ・パソコン教室関連機器引取業務委託 81,000円 ② 教材備品等の購入 小学校 4,929,410円 中学校 1,989,727円 ③ 文化・スポーツ活動で全国大会等に出場するための経費の一部を助成 小学校 1件 10名 128,300円 中学校 12件 26名 844,700円 ※ 執行率について 小学校のスポーツ活動で全国大会等に出場するための経費の一部助成が当初の見込みを上回り増額補正したため、小学校の執行率が100%を超えた。			
自己評価	A			
評価理由	① 学校の統廃合を見据えて、教育用パソコンの整備と適切な管理をすることができた。			

	<p>② 理科・算数教育備品に係る国の補助整備率が低いものの限られた予算の中で各校の要望に沿った整備を進めることができた。</p> <p>③ 東北大会以上の大会に出場する児童生徒の派遣に要する旅費及び宿泊費の3分の2を補助することにより、保護者の負担軽減が図られ、文化・スポーツ活動の一助となった。</p>
問題点	なし
今後の取組	学校と連携し、情報収集に努め、未来につながる教育の振興を図りながら、児童生徒が意欲的に活動できる環境を整備していく。
外部評価	A

事業名	就学援助事業（小学校・中学校）			【継続】
予算	当初 小17,925千円 中17,108千円	決算 小11,938千円 中12,929千円	執行率 66.6% 75.6%	
事業計画	① 就学援助費支給に伴う事務及び経費の管理			
事業実績	① 就学援助費支給に伴う事務及び経費の管理 小学校 ・学用品費等の支給 227名 7,814,805円 ・医療扶助 24名 64,191円 ・給食扶助 205名 3,583,616円 ・特別支援教育就学奨励費 24名 475,242円 中学校 ・学用品費等の支給 186名 11,222,463円 ・医療扶助 14名 27,803円 ・給食扶助 161名 1,463,156円 ・特別支援教育就学奨励費 10名 216,441円 ※ 執行率について 実費支給項目の予算額は限度額まで設定していることなどにより、個々に見込んでいた支給項目の支払額が下回った。			
自己評価	A			
評価理由	黒石市就学援助事業実施要綱に基づき、就学が困難な児童生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施に資することができた。			
問題点	なし			
今後の取組	保護者の経済的負担の軽減を図るため、実情の把握に努めながら、適正な支給を行う。			

外部評価	A
------	---

事業名	小学校・中学校配分予算管理事業			【継続】																																														
予算	当初 小23,820千円 中9,691千円	決算 小22,702千円 中9,511千円	執行率	小95.3% 中98.1%																																														
事業計画	① 各小・中学校へ事務管理予算を配分 ② 各小・中学校へ振興予算を配分																																																	
事業実績	<p>児童生徒の教育、衛生管理、学校維持管理等、安全安心な学校生活のために日々必要な予算を各学校に配分し、各学校で学校運営事務及び予算執行を行った。また、黒石市校長会（6回）、学校事務担当者会議（4回）、学校当初予算要求書の留意事項等説明会（1回）を通して情報共有を図った。</p> <p>① 各小・中学校へ事務管理予算を配分</p> <table border="0"> <tr> <td>小学校 10校</td> <td style="text-align: right;"><u>17,528,536円</u></td> </tr> <tr> <td>・ボイラー運転代行員及び給食代行員賃金</td> <td style="text-align: right;">198,728円</td> </tr> <tr> <td>・旅費（市教委文書配布、学校維持材料購入等）</td> <td style="text-align: right;">137,862円</td> </tr> <tr> <td>・消耗品費（児童管理用事務用品、衛生管理用品等）</td> <td style="text-align: right;">11,877,792円</td> </tr> <tr> <td>・燃料費（ガソリン、ガス、混合油、軽油）</td> <td style="text-align: right;">1,141,834円</td> </tr> <tr> <td>・食糧費（学校評議員会議用お茶代）</td> <td style="text-align: right;">58,812円</td> </tr> <tr> <td>・印刷製本費（学校要覧等）</td> <td style="text-align: right;">882,150円</td> </tr> <tr> <td>・医薬材料費（保険室用医薬品）</td> <td style="text-align: right;">277,423円</td> </tr> <tr> <td>・通信運搬費（郵便料）</td> <td style="text-align: right;">205,248円</td> </tr> <tr> <td>・手数料（ピアノ調律、浄化槽等点検、法定検査等）</td> <td style="text-align: right;">2,331,021円</td> </tr> <tr> <td>・賃借料（救急患者輸送等）</td> <td style="text-align: right;">6,570円</td> </tr> <tr> <td>・原材料費（環境整備用原材料）</td> <td style="text-align: right;">411,096円</td> </tr> <tr> <td>中学校 2校</td> <td style="text-align: right;"><u>5,763,690円</u></td> </tr> <tr> <td>・旅費（学校維持材料購入等）</td> <td style="text-align: right;">20,165円</td> </tr> <tr> <td>・消耗品費（生徒管理用事務用品、衛生管理用品等）</td> <td style="text-align: right;">4,107,973円</td> </tr> <tr> <td>・燃料費（ガソリン、ガス、混合油、軽油）</td> <td style="text-align: right;">138,201円</td> </tr> <tr> <td>・食糧費（学校評議員会議用お茶代）</td> <td style="text-align: right;">11,969円</td> </tr> <tr> <td>・印刷製本費（学校要覧等）</td> <td style="text-align: right;">331,865円</td> </tr> <tr> <td>・医薬材料費（保険室用医薬品）</td> <td style="text-align: right;">144,890円</td> </tr> <tr> <td>・通信運搬費（郵便料）</td> <td style="text-align: right;">78,000円</td> </tr> <tr> <td>・手数料（ピアノ調律、浄化槽等点検、法定検査等）</td> <td style="text-align: right;">776,269円</td> </tr> <tr> <td>・賃借料（救急患者輸送等）</td> <td style="text-align: right;">2,820円</td> </tr> <tr> <td>・原材料費（環境整備用原材料）</td> <td style="text-align: right;">151,538円</td> </tr> </table> <p>② 各小・中学校へ振興予算を配分</p>				小学校 10校	<u>17,528,536円</u>	・ボイラー運転代行員及び給食代行員賃金	198,728円	・旅費（市教委文書配布、学校維持材料購入等）	137,862円	・消耗品費（児童管理用事務用品、衛生管理用品等）	11,877,792円	・燃料費（ガソリン、ガス、混合油、軽油）	1,141,834円	・食糧費（学校評議員会議用お茶代）	58,812円	・印刷製本費（学校要覧等）	882,150円	・医薬材料費（保険室用医薬品）	277,423円	・通信運搬費（郵便料）	205,248円	・手数料（ピアノ調律、浄化槽等点検、法定検査等）	2,331,021円	・賃借料（救急患者輸送等）	6,570円	・原材料費（環境整備用原材料）	411,096円	中学校 2校	<u>5,763,690円</u>	・旅費（学校維持材料購入等）	20,165円	・消耗品費（生徒管理用事務用品、衛生管理用品等）	4,107,973円	・燃料費（ガソリン、ガス、混合油、軽油）	138,201円	・食糧費（学校評議員会議用お茶代）	11,969円	・印刷製本費（学校要覧等）	331,865円	・医薬材料費（保険室用医薬品）	144,890円	・通信運搬費（郵便料）	78,000円	・手数料（ピアノ調律、浄化槽等点検、法定検査等）	776,269円	・賃借料（救急患者輸送等）	2,820円	・原材料費（環境整備用原材料）	151,538円
小学校 10校	<u>17,528,536円</u>																																																	
・ボイラー運転代行員及び給食代行員賃金	198,728円																																																	
・旅費（市教委文書配布、学校維持材料購入等）	137,862円																																																	
・消耗品費（児童管理用事務用品、衛生管理用品等）	11,877,792円																																																	
・燃料費（ガソリン、ガス、混合油、軽油）	1,141,834円																																																	
・食糧費（学校評議員会議用お茶代）	58,812円																																																	
・印刷製本費（学校要覧等）	882,150円																																																	
・医薬材料費（保険室用医薬品）	277,423円																																																	
・通信運搬費（郵便料）	205,248円																																																	
・手数料（ピアノ調律、浄化槽等点検、法定検査等）	2,331,021円																																																	
・賃借料（救急患者輸送等）	6,570円																																																	
・原材料費（環境整備用原材料）	411,096円																																																	
中学校 2校	<u>5,763,690円</u>																																																	
・旅費（学校維持材料購入等）	20,165円																																																	
・消耗品費（生徒管理用事務用品、衛生管理用品等）	4,107,973円																																																	
・燃料費（ガソリン、ガス、混合油、軽油）	138,201円																																																	
・食糧費（学校評議員会議用お茶代）	11,969円																																																	
・印刷製本費（学校要覧等）	331,865円																																																	
・医薬材料費（保険室用医薬品）	144,890円																																																	
・通信運搬費（郵便料）	78,000円																																																	
・手数料（ピアノ調律、浄化槽等点検、法定検査等）	776,269円																																																	
・賃借料（救急患者輸送等）	2,820円																																																	
・原材料費（環境整備用原材料）	151,538円																																																	

	小学校 10校 5,172,916円 ・報償費（卒業記念品、行事賞品等） 467,069円 ・消耗品費（児童学習用品、部活動用品、特別支援学級用品等） 2,962,083円 ・印刷製本費（通知票、卒業証書等） 412,076円 ・委託料（知能検査） 259,940円 ・借上料（総合学習用品、行事用品等） 16,070円 ・備品購入費（学校図書館図書） 1,055,678円 中学校 2校 3,746,385円 ・報償費（卒業記念品、行事賞品等） 331,512円 ・消耗品費（生徒学習用品、部活動用品、特別支援学級用品等） 2,092,726円 ・印刷製本費（通知票、卒業証書等） 298,678円 ・委託料（知能検査） 113,160円 ・借上料（総合学習用品、行事用品等） 0円 ・備品購入費（学校図書館図書） 910,309円
自己評価	A
評価理由	学校と協力し合いながら、学校管理及び学校教育のために必要な日々の細かな事務及び予算の執行を滞りなく行うことができた。
問題点	なし
今後の取組	今後も学校と協力し合いながら、学校運営に必要な事務の執行と予算の配分を行っていく。
外部評価	A

事業名	統合準備事業（小学校） 【新規】		
予算	当初 1,951千円	決算 1,224千円	執行率 62.7%
事業計画	① 六郷小学校及び上十川小学校の統合への円滑な移行 ・児童交流事業の実施 ・スクールバスの試走 ・統合に伴う校旗の新調 ・引越し業者の手配		
事業実績	① 六郷小学校及び上十川小学校の統合への円滑な移行 ・児童交流事業の実施（交流事業に伴うバス借上料） 172,800円 ・スクールバスの試走（乗車練習に伴うバスの借上料） 75,600円 ・統合に伴う校旗の新調（校旗作成業務委託） 628,560円 ・引越し業者の手配（ピアノ、耐火金庫移設等業務委託） 346,140円 ※ 執行率について		

	<p>スクールバスの試走は、座席数の問題から当初3台を想定したが、バス会社の協力もあり2台にできたため、1台分の借上料が減となった。</p> <p>また、委託料は、学校及び地域の協力があり引越しの費用を節約できた。</p>
自己評価	A
評価理由	学校と連携し、計画していた事業を十分に実施することができた。
問題点	なし
今後の取組	平成32年度に統合を控えている各小学校についても、遅滞なく準備を進め、統合校への円滑な移行を図る。
外部評価	A

事業名	閉校式典事業（小学校）			【新規】		
予算	当初	1,306千円	決算	1,237千円	執行率	94.7%
事業計画	① 記念誌及び記念品の調製 ② 閉校記念式典開催に伴う事務的経費の管理					
事業実績	① 記念誌及び記念品の調製 1,079,373円 ② 閉校記念式典開催に伴う事務的経費の管理 157,138円					
自己評価	A					
評価理由	学校と連携し、計画していた事業を十分に実施することができた。					
問題点	なし					
今後の取組	平成32年度に統合を控えている各小学校についても、遅滞なく準備を進め、記念式典の円滑な運営に努める。					
外部評価	A					

事業名	学校建設等事業（小学校）			【継続】		
予算	当初	244,017千円	決算	207,133千円	執行率	84.9%
事業計画	① 新設小学校新築実施設計等 ② 六郷小学校給食用厨房改築工事等					
事業実績	① 新設小学校新築実施設計等 ・新設小学校新築実施設計業務委託料 56,808,000円 ・新設小学校新築確認申請手数料 210,000円 ② 六郷小学校給食用厨房改築工事等					

	<ul style="list-style-type: none"> ・六郷小学校給食用厨房改築工事 146,556,000円 ・六郷小学校給食用厨房改築工事監理業務委託料 3,078,000円 ・六郷小学校給食用厨房改築完了検査申請等手数料 27,000円 ・六郷小学校校舎新築工事設計内訳書作成業務委託料 453,600円
自己評価	A
評価理由	期限内に完成させることができた。
問題点	なし
今後の取組	今後の新築工事等についても適切に作業を行っていく。
外部評価	A

2 指導課

事業名	算数・数学「UPる」先生事業			【継続】		
予算	当初	9,159千円	決算	8,039千円	執行率	87.8%
事業計画	① 小学校に5名、中学校に4名の算数・数学「UPる」先生を配置 ② 算数・数学におけるチームティーチングによる指導 ③ 年3回の「UPる」先生活用連絡協議会の開催					
事業実績	① H29.5-H30.2の10か月間、4時間の勤務時間で小学校5名、中学校4名、計9名を配置した。 ② 日常のTT指導のほか、長期休業においては補充的学習を行った。 ③ 「UPる」先生活用連絡協議会 ・第1回「UPる」先生活用連絡協議会では、事業の説明と、各学校における「UPる」先生の勤務割振、効果的活用について協議した。 ・第2回「UPる」先生活用連絡協議会では、算数・数学に関する指導法の講話と各学校の「UPる」先生の活用について情報交換を行った。 ・第3回「UPる」先生活用連絡協議会では、弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻教授 中野博之氏を講師に招いて、主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善について講話をいただいた。					
自己評価	A					
評価理由	算数・数学「UPる」先生の活用に関しては、全小・中学校に配置することができ、校長の年度末評価から、学力定着や学習意欲の向上において非常に効果が高いという評価をいただいた。					
問題点	なし					
今後の取組	算数・数学「UPる」先生を、学校規模に合わせた人数配置を図りたい。					
外部評価	A					

事業名	やる気「UPる」塾事業			【継続】		
予算	当初	488千円	決算	398千円	執行率	81.6%
事業計画	① 中学生を対象とした5月～2月までの第2・第4土曜日において自学自習形式で塾を実施 ② 「UPる」先生と弘前大学教育学部1年生が講師となって、生徒の質問に対する個別指導					
事業実績	① H29.5-H30.2の第2・第4土曜日の午前中に20回実施した。 ② 市内中学生50名が参加し、弘前大学教育学部1年生や「UPる」先生が塾講師となって、生徒一人一人の質問に分かるまで丁寧に個別指導を行った。					

自己評価	A
評価理由	生徒のアンケート結果から、以前よりも授業等の内容がよく分かるようになったと回答した生徒の割合が増えたことにより、学習意欲と学力の向上に効果があったと言える。
問題点	なし
今後の取組	学力向上につながるように、弘前大学生や「UPる」先生から勉強の仕方なども生徒へ伝えていく。
外部評価	A

事業名	健康教育推進事業			【継続】		
予算	当初	64千円	決算	44千円	執行率	68.8%
事業計画	① 健康教育推進会議の実施 ② 健康教育推進モデル校による授業公開 ③ 「事業のまとめ」冊子の作成					
事業実績	① H29.4.14 第1回健康教育推進会議を実施し、健康教育の意義や健康教育を推進する際の留意点について話し合った。 H30.2.8 中南地区連携推進協議会と連携し第2回健康教育推進会議（健康教育シンポジウム）を実施し、健康教育授業実践発表や健康教育に関するシンポジウムを行った。 ② H29.10.24 中郷中学校、H29.11.21 黒石小学校、H29.12.4 北陽小学校、H29.12.7 牡丹平小学校、H29.12.14 黒石東小学校の5つのモデル校による公開授業を行った。 ③ 「黒石市健康教育推進事業 実践のまとめ」を3月に80部作成し、黒石市内各小・中学校に2部及び関係機関等に配布した。 中南地区連携推進協議会との連携により、弘前大学の講師謝金及び旅費が発生しなかったことにより、執行率が低かった。					
自己評価	A					
評価理由	各学校の授業実践から、生涯にわたって健康で充実した生活を送る能力を身に付けさせるため、体育科（保健領域）を中心に、他教科、道徳、特別活動等との関連を図りながら授業を展開していることがわかった。また、心身の健康についての知識を習得するとともに、健康な生活を送ろうとする態度が身に付くなどの成果がみられ、地域や家庭と共に健康を考える取組を進めたことで、地域や家族全体で健康に対する意識を高めることにつながった。さらに、「実践のまとめ」は、今後、健康教育を進めていくための貴重な参考資料となった。					

問 題 点	なし
今後の取組	子どもたちの健康課題解決と健康教育の一層の充実を図るため、学校訪問や健康教育推進会議等で「実践のまとめ」の活用促進と各学校の学校要覧に健康教育に関する全体計画を掲載するなど指導助言に努める。
外部評価	A

事業名	外国語指導助手事業			【継続】		
予 算	当初	10,534千円	決算	9,101千円	執行率	86.4%
事業計画	① 外国語指導助手による小・中学校への派遣 ② 英語担当及び外国語活動を指導する教員の指導力向上 ③ 外国語活動研修講座					
事業実績	① 外国語指導助手を2名配置し、計画的に市内小・中学校に派遣した。訪問日数は市内小学校に176日、市内中学校に174日である。小学校では、コミュニケーションを中心とした外国語活動の授業を支援し、児童の外国語や異文化に対する関心と意欲を高めた。中学校では、英語担当教員と協力し合いながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を示し、外国語の授業を支援した。また、英語スピーチコンテストに向け、夏季休業中に積極的な個別指導を行った。 ② 外国語活動研修講座の演習では、外国語指導助手が講師を務め、自作の資料を基に授業のアイデアを紹介した。 ③ 5月8日に外国語活動研修講座を開催し、市内小・中学校の外国語教育担当者14名が参加した。					
自己評価	A					
評価理由	外国語指導助手は、事前の教材研究や自作教材の開発等にも熱心に取り組み、授業改善に努めた。毎日の授業ではネイティブな外国語の音声に慣れ親しませながら、英語やアメリカの文化について児童生徒の関心を高めることができた。また、外国語活動研修講座では、演習の講師を務め、参加した教員に授業のアイデアを紹介するなど、指導力向上にも努めた。講座終了後のアンケートでは、参加者全員が「参考になった」と回答している。					
問 題 点	なし					
今後の取組	外国語教育の充実を目指し、外国語活動及び外国語における学級担任の指導力向上を図る。					
外部評価	A					

事業名	教育相談・学習適応指導教室事業			【継続】		
予算	当初	4,470千円	決算	4,283千円	執行率	95.8%
事業計画	① 児童生徒及び保護者、教職員を対象にした電話・来庁・訪問相談 ② 不登校児童生徒の学校復帰に対する支援 ③ 移動適応指導教室の実施					
事業実績	① 教育相談件数は、来所相談が12件、電話相談が23件、訪問相談が3件であった。主な相談内容は、不登校及び集団への不適応、児童生徒と教師の人間関係、児童生徒の保護者の問題、児童生徒同士の人間関係、児童生徒の問題行動、学校の指導の仕方についてである。 ② 学習適応指導教室に正式通室している7名の生徒の他に、見学や体験で来室した8名の児童生徒にも個別に対応するなど、児童生徒一人一人の状況に応じた適切な支援ができた。中学校3学年の生徒においては、3名全員が最終的に希望する高等学校に進学するなど大きな成果を上げることができた。 ③ 毎週月曜日及び長期休業の前後に移動適応指導教室を実施した。その他にも児童生徒の状況に応じて別室登校に対する支援を行った。					
自己評価	A					
評価理由	様々な悩みを抱える相談者に対して、きめ細かで丁寧な対応に努めるとともに、学校や関係機関と連携を図りながら問題の解決に向けて支援を行った。 学習適応指導教室では、定例会等をとおして、学校との連携を密にし、不登校児童生徒が安心できる環境づくりと登校できるきっかけづくりに努めた。また、社会見学や体験学習の内容を充実させ、個々のニーズに応じた十分な支援を心がけた。さらに、中学校卒業後の生徒に対する相談も受けるなど、生徒の卒業後も継続的なケアに努めている。					
問題点	なし					
今後の取組	社会見学や体験活動を工夫して取り入れ、社会的自立や学校復帰に向けた支援に努める。					
外部評価	A					

事業名	進路指導対策事業			【継続】		
予算	当初	50千円	決算	45千円	執行率	90%
事業計画	① 中学生の進路指導に係る経費の支援 ② 職場体験、進路講話などに係る経費の支援					
事業実績	以下の事業実施のため経費の支援を行った。 ・各中学校において、職場体験や職場訪問の報告集等を作成した。					

	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校において、外部講師を招いて進路講話を行った。 ・夏休み中は、3年生に対して先輩から高校生活について説明を行う機会を設けた。
自己評価	A
評価理由	各中学校において、職場体験の報告集の配布や進路講話などを実施したことで、将来の進路実現に向けて生徒一人一人の意識向上を図ることができた。
問題点	なし
今後の取組	今後も、生徒一人一人の進路実現のために様々な機会を設けるよう学校側へ指導助言を行う。
外部評価	A

事業名	指導課事務事業 【継続】		
予算	当初 1,115千円	決算 960千円	執行率 86.1%
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 教職員の資質向上研修 ② 学校訪問（要請訪問・計画訪問） ③ 指導課事務事業に伴う事務及び経費の管理 		
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ① 教職員の資質向上研修 <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修講座 H29.7.4 初任者教諭対処に黒石市の歴史文化等の理解促進を図った。 ・幼児児童教育実技研修講座 H29.8.10 幼児教育、小学校教育の担当者を対象に、発達の段階に応じたカリキュラムの構築について情報提供と情報共有を図った。 ・ICT活用研修講座 H29.7.26 小・中学校の教員を対象にICTの活用方法について知識習得と技能向上を図った。 ・研修主任研修講座 H29.4.10 研修主任を対象に校内研修の効果的な進め方について講義し、研修主任の資質向上を図った。 ・夏期研修講座 H29.7.27 小・中学校の教員を対象に講義を行い、学校運営等教員としての視野の拡大を図った。 ・小学校外国語活動研修講座 H29.5.9 小・中学校の教員を対象に英語の授業や外国語活動における指導力の向上を図った。 ・インクルーシブ教育スキルアップ研修会 H29.5.8 		

	<p>小・中学校の管理職及び教員を対象に講演を行い、特別支援教育の知識・専門性の向上を図った。</p> <p>② 学校訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画訪問 H29.5-7 12回 学校運営等の現状把握、授業に関する指導助言 ・要請訪問 H29.5-12 18回 校内研修や教育課題に関する指導助言 ・生徒指導訪問 H29.8-H30.1 2回 児童生徒の生活状況の把握 ・学力向上支援訪問 H30.2 6回 教科指導の指導助言 <p>③ 指導課の各事業の支払事務を予算に基づき適正に執行した。</p>
自己評価	A
評価理由	<p>各講座ともに、教育改革の動向や学校のニーズなど、対象となる教員の実態を踏まえた内容とし、講義の他、協議・情報共有の時間を設定した。また、参加者からのアンケートではほとんどの事業において高い評価を受けることができた。</p> <p>各種学校訪問では、各校の学校運営、学習指導、生徒指導状況を把握し、課題解決のための指導助言を行った。</p>
問題点	なし
今後の取組	<p>黒石市内の学校の実態を踏まえ、教育活動の充実を支える教員に必要となる資質・能力の向上を図るための研修内容を考え、より充実した各講座を実施する。</p>
外部評価	A

事業名	キャリア「UPる」事業			【継続】		
予算	当初	380千円	決算	378千円	執行率	99.5%
事業計画	<p>① 黒石市キャリア教育スクールプログラムの発行</p> <p>② 市内各小・中学校への配布</p>					
事業実績	<p>黒石市内35社の仕事内容や求める人物像などが掲載されている黒石市キャリアスクールプログラムを作成し、6月末までに各小・中学校へ配布した。</p>					
自己評価	A					
評価理由	<p>黒石市内の様々な業種について掲載した本冊子を各小・中学校へ配布したことで、総合的な学習や職場体験などで活用され、キャリア教育の充実を図ることができた。</p>					
問題点	なし					
今後の取組	<p>今後も職場体験などにおいて、本冊子を活用するように各小・中学校へ指導助言を行う。</p>					

外部評価	A
------	---

事業名	中学生子ども議会事業	【新規】
予算	当初 26千円	決算 24千円 執行率 92.3%
事業計画	① 中学3年生を対象とした子ども議会の実施	
事業実績	<p>中学校3年生を対象として、黒石中学校及び中郷中学校の体育館で実施した。通常の議会で行う一般質問と同様のスタイルで行い、子ども議員に選出された代表生徒は、直接理事者とやり取りするという貴重な体験をすることができた。また、その様子を3学年全員が傍聴するという機会を提供できたことにより、社会科がねらう地方自治の仕組みについても理解を深めることができた。</p>	
自己評価	B	
評価理由	<p>子ども議会を実施することにより、将来の「まちづくり」に関心をもたせるとともに、生徒の政治参加への意識向上を図ることができた。実施後のアンケート結果からは、答弁の内容や市議会の仕組み等について約9割の生徒が理解したと回答している。市政への関心については、関心があったと回答した生徒の割合が約8割であった。</p>	
問題点	<p>中学校教員からの聴き取りによると、実施時期の調整や事前事後指導を含んだ授業時間数の確保など、開催するにあたっていくつかの課題も挙げられた。さらに、中学校では新学習指導要領の改訂にともない、平成31年度より年間指導計画を検討する時期をむかえるため、定期的な開催は難しい。</p>	
今後の取組	<p>各中学校における年間指導計画や他教科の授業時数とのバランス、学校行事等との関連等について各中学校と協議し、社会科の授業の一環として各中学校から実施の要望があれば出前講座として対応する。</p>	
外部評価	A	

事業名	教育講演会事業	【新規】
予算	当初 639千円	決算 536千円 執行率 83.9%
事業計画	① 教育講演会の実施	
事業実績	<p>教育評論家である水谷修氏を招き、スポカルイン黒石を会場に教育講演会を開催した。また、黒石中学校、中郷中学校においても生徒対象に教育講演会を開催した。</p>	
自己評価	A	

評価理由	黒石市内を中心にポスターを貼ったり、各団体にちらしを配付したりしたことで370名の参会者を集めることができた。
問題点	なし
今後の取組	必要に応じて、講演内容や講師等を選択し、関係課が中心となって実施する。
外部評価	A

事業名	教育研究所事業 【継続】		
予算	当初 1,689千円	決算 1,552千円	執行率 91.9%
事業計画	① 教育研究所事業に伴う事務及び経費の管理		
事業実績	教育研究所において予算措置している臨時事務員の賃金、社会保険料の支払事務を行った。また、教育研究所の各事業の支払事務を予算に基づき適正に執行した。		
自己評価	A		
評価理由	予算に基づき、適正に事務処理を執行することができた。		
問題点	なし		
今後の取組	今後も、教育研究所事業に伴う事務処理を適切に行う。		
外部評価	A		

事業名	理科実技研修会事業 【継続】		
予算	当初 41千円	決算 41千円	執行率 100%
事業計画	① 理科教育にかかる教職員の授業技術・指導力向上のための研修会の実施		
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回理科実技研修講座 H29.5.11 10名参加 ・第2回理科実技研修講座 H29.8.1 13名参加 		
自己評価	A		
評価理由	2回の実技研修講座を実施したことで、教員の理科に関する観察・実験の技術向上につながった。また、参加者からのアンケート結果から、新学習指導要領に対応する今後の授業改善や教材づくり、教材の活用方法に大変参考になる内容であったことや次年度も受講したいなど、とても高い評価を受けることができた。		
問題点	なし		

今後の取組	新学習指導要領の内容や学校の理科教育の実態を踏まえ、教職員の授業技術や指導力向上となるような研修内容と講師を選定し、より充実した講座を実施する。
外部評価	A

事業名	科学教室事業	【継続】				
予算	当初	172千円	決算	166千円	執行率	96.5%
事業計画	① 小学校の児童を対象とした野外科学教室、親子科学教室の実施					
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・野外科学教室 浅虫 H29.7.1 (小4～6年) 14名参加 ・親子科学教室 夏休み H29.8.17 (小1～3年) 47名参加 秋季 H29.9.30 (小4～6年) 11名参加 冬休み H30.1.11 (小1～3年) 43名参加 					
自己評価	A					
評価理由	野外科学教室は、磯の観察をとおして、海辺に生息している動植物の生態について理解することができた。親子科学教室は、参加児童の学年に応じた内容で実施しており、参加児童のアンケート結果では次年度も参加したいと大変好評であった。参加人数が多かった親子科学教室は、午前・午後と2回に分けて実施することができた。					
問題点	なし					
今後の取組	限られた予算の中で野外科学教室が継続して実施できるよう、市の福祉バスを活用する。					
外部評価	A					

事業名	児童・生徒理科研究発表会事業	【継続】				
予算	当初	61千円	決算	24千円	執行率	39.3%
事業計画	① 小・中学校の児童生徒を対象とした理科研究発表会の実施 ② 児童生徒理科研究集録「めばえ」への発表資料の掲載					
事業実績	① 理科研究発表会 H29.10.14 発表者 小学生13名 参加人数の減少のため、報償費（入賞用楯、参加賞等）が支出減したことにより、執行率が低かった。					

	② 児童生徒理科研究集録「めばえ」に発表者13名を掲載した。
自己評価	B
評価理由	理科研究発表会は、子どもたちが、身近な自然事象に対し、素朴な疑問や科学的に興味・関心をもったことについて調べたり、実験したりして研究したことを発表するよい機会となっている。
問題点	児童生徒数及び学校数の減少により、参加人数が年々減ってきている。
今後の取組	発表者の人数を確保するために、学校訪問や研究所だよりを活用し学校に協力依頼をしていく。
外部評価	B

事業名	未来の科学の夢絵画展事業			【継続】		
予算	当初	67千円	決算	16千円	執行率	23.9%
事業計画	① 未来の科学の夢に関する絵画作品の募集 ② 未来の科学の夢に関する絵画作品審査会及び展示会の実施					
事業実績	① 未来の科学の夢絵画展作品 出品数 16点 出品数が例年に比べ非常に少なかったため、報償費（入賞賞品、参加賞等）が支出減したことにより、執行率が低かった。 ② 未来の科学の夢絵画展審査会 H29. 8. 25 未来の科学の夢絵画展 H29. 9. 2～3まで開催					
自己評価	B					
評価理由	科学に対する興味関心の高い創造力豊かな作品が集まってきている。H29年度は、本事業に出品した作品が「青森県知事賞」を受賞した。					
問題点	児童生徒数及び学校数の減少により年々、出品数が減ってきている。					
今後の取組	作品募集開始時期を6月末から6月上旬にし、作品作りの期間を長くとるよう配慮する。					
外部評価	B					

事業名	児童生徒理科研究集録「めばえ」発行事業			【継続】		
予算	当初	103千円	決算	99千円	執行率	96.1%
事業計画	① 児童生徒理科研究集録「めばえ」の刊行					
事業実績	・児童生徒理科研究集録「めばえ」第49号を180部刊行した。					

自己評価	A
評価理由	児童生徒理科研究発表会で発表した作品を一冊にまとめた理科研究集録「めばえ」を刊行し、各小・中学校へ配布した。
問題点	なし
今後の取組	B5判サイズからA4判サイズに変更し、より見やすいものを作成していく。
外部評価	A

3 社会教育課

事業名	農村環境改善センター管理事業			【継続】		
予算	当初	2,912千円	決算	3,079千円	執行率	105.7%
事業計画	① 農村環境改善センター(六宝館)の管理・運営に係る指定管理業務委託等					
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕料 ※194千円 ・委託料 2,872千円 ・賃借料 13千円 ・農村環境改善センター管理事業費 207千円 (社会教育課持分) (そのうち194千円は多目的ホール暖房修繕料として追加補正) ・農村環境改善センター指定管理料 2,872千円 					
自己評価	A					
評価理由	<p>社会教育課における管理事業に関しては、想定外に多目的ホール暖房の故障が発生したが、補正予算で適正に対応することができた。</p> <p>また、指定管理事業においては、指定管理者及び公民館事務員と連携を密にしながら、円滑な施設の管理運営ができた。</p>					
問題点	なし					
今後の取組	<p>指定管理者及び公民館等職員と連携を図りながら、効果的かつ円滑に施設の維持管理及び公民館業務の遂行に努めるとともに、平成32年度からの指定管理業務更新時に向けて、指定管理業務の内容等を各地区指定管理者と一緒に精査していく。</p> <p>また、社会教育課所管の施設の老朽化が進んでいることから、関係部署と連携を図りながら適正な改修計画を立て、施設の維持管理に努めるとともに、利用者の安全と利便性を確保する。</p>					
外部評価	A					

事業名	社会教育関係事業			【継続】		
予算	当初	1,075千円	決算	843千円	執行率	78.4%
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 社会教育課業務(庶務) ② 黒石市婦人連合会への支援業務 ③ 公用車管理業務 					
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ① 社会教育課業務(庶務) (主に婦人会活動への支援業務として) <ul style="list-style-type: none"> ・時間外 123千円 ・消耗品費 93千円 ② 黒石市婦人連合会への支援業務 <ul style="list-style-type: none"> ・報償費 25千円 ・委託料 44千円 ・賃借料 196千円 					

	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金 90千円 ・女性団体指導者研修会事業 <ul style="list-style-type: none"> テーマ 「笑って元気！女性の力で黒石の活性化」 講師 おおいた観光特使 矢野 大和 氏 内容 講演 ・婦人会館消防設備点検業務委託 ・婦人会館土地賃貸料支払い ・婦人会活動補助金交付 ◆活動支援業務 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4/10（月）黒石市連合婦人会総会【48名参加】 <ul style="list-style-type: none"> 会場：黒石市産業会館 連絡調整、来賓案内作成及び配布、総会資料作成、会場準備等 ・ 8/27（日）第35回体育レクリエーション大会【4地区参加】 <ul style="list-style-type: none"> 会場：黒石市スポーツ交流センター プログラム作成、当日の記録写真撮影 ・ 9/26（火）市長との意見交換会【15名参加】 <ul style="list-style-type: none"> 会場：黒石市婦人会館 日程調整、案内文作成、会場準備、記録 ・ 10/28（土）～29（日）宮古市・黒石市地域婦人団体交流会【20名参加】 <ul style="list-style-type: none"> 会場：宮古市田老地区ほか 宮古市との連絡調整、費用計算、宿泊・食事の手配、行程表作成、同行、補助金の申請 ・ 12/ 5（火）中弘南黒平地区婦人団体研修会【30名参加】 <ul style="list-style-type: none"> 会場：藤崎町文化センター 福祉バス手配、参加取りまとめ及び申込み、同行 ・ 1/27（土）第44回黒石市連合婦人会婦人大会【43名参加】 <ul style="list-style-type: none"> 会場：黒石市産業会館 連絡調整、講師依頼、来賓案内作成及び配布、資料作成 ・ 3/11（日）黒石市連合婦人会芸能祭【120名以上参加】 <ul style="list-style-type: none"> 会場：津軽伝承工芸館 連絡調整、打ち合わせ同行、来賓案内作成及び配布、来賓出席確認、プログラム作成、看板作成、会場準備、駐車場確保等 ③ 公用車管理業務（公用車軽油代／車検代として） <ul style="list-style-type: none"> ・燃料費 139千円 ・修繕料 64千円 ・手数料 2千円 ・保険料 50千円 ・公課費 17千円
自己評価	B

評価理由	例年どおり、市連合婦人会活動への支援業務を適正に行うことができた。 特に宮古市・黒石市地域婦人団体交流会は、宮古市との連絡調整から事業完了までを支援したことで、トラブルや事故が無く終えることができた。
問題点	婦人会館の老朽化が目立ち、計画的に改修が必要になる見通しがあるため、婦人会との連携を図り、適正に進めていく。
今後の取組	引き続き、市連合婦人会と連携を図るとともに、支援業務を行う。
外部評価	B

事業名	スポカライン黒石図書コーナー管理事業 【継続】		
予算	当初 9,736千円	決算 9,357千円	執行率 96.1%
事業計画	① 図書関連施設との連携、図書情報の共有、読み聞かせ団体及びサークルの活動支援等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書選定会 ・ 図書の団体貸出 ・ 新刊図書情報の発信 ・ 製本講座 ・ 出前おはなし会 ・ 蔵書管理 ・ 郷土資料等の収集、整理 ・ 県立図書館とのネットワーク ・ 読み聞かせサークル交流会 等 		
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共 済 費 742千円 ・ 旅 費 7千円 ・ 印刷製本費 3千円 ・ 委 託 料 164千円 ・ 負 担 金 13千円 ・ 賃 金 6,231千円 ・ 消耗品費 491千円 ・ 光熱水費 698千円 ・ 使 用 料 39千円 ・ 報 償 費 53千円 ・ 燃 料 費 29千円 ・ 通信運搬費 141千円 ・ 備品購入費 746千円 <p>◆主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書選定会 5/31(水) 10/24(火) 【13名参加】 協力者：読書クラブ水よう会・おはなしむくむく会員 書店における実物選定、新刊案内による選定、リクエスト受付 ・ 図書の団体貸出 藤巻グループ 4・7・10・1月 【120冊】 中郷公民館 6月 【153冊】 北地区児童館 7・12月 【146冊】 		

	<p>西部児童館 6・12月【160冊】</p> <p>たけみ保育園 4・10月【200冊】</p> <p>テレジア幼稚園 5・9月【64冊】</p> <p>六郷小学校 6・11月【400冊】（うち県立図書館から120冊）</p> <p>追子野木公民館 5・11月【110冊】</p> <p>アリス保育園 5月【5冊】</p> <p>浅瀬石小学校 10月【120冊】</p> <p>北陽小学校 10月【20冊】</p> <p>あけぼの保育園 5・9月【4冊】</p> <p>ま～な 毎週木・金【1,427冊】</p> <p>・新刊図書情報の発信</p> <p>市広報を活用した話題図書の紹介</p> <p>他市町村蔵書資料の活用</p> <p>ホームページでの新着図書の公開</p> <p>・製本講座 【24名参加】</p> <p>9/12（土）「オリジナル絵本をつくろう」（無線綴じ）</p> <p>10/7（土）「古き良き和装本のつくり方を学ぼう」（和綴じ）</p> <p>・出前おはなし会 【1,115名参加】</p> <p>6/5（月）11/6（月）上十川小学校 【101名参加】</p> <p>6/12（月）13（火）15（木）黒石小学校 【171名参加】</p> <p>6/19（金）7/7（金）9/8（金）21（木）2/27（火）</p> <p>中郷小学校 【592名参加】</p> <p>7/6（木）11/2（木）牡丹平小学校 【52名参加】</p> <p>8/28（月）11/24（金）北陽小学校 【136名参加】</p> <p>1/30（火）六郷小学校 【63名参加】</p> <p>・蔵書管理（随時）</p> <p>・郷土資料等の収集、整理（随時）</p> <p>県立図書館協力用図書の借り受け 7月・11月・1月【1,325冊】</p> <p>県立図書館職員の派遣協力のもと、除籍作業を行う。</p> <p>・県立図書館とのネットワーク</p> <p>青森県図書館情報ネットワークの活用（随時）</p> <p>相互貸借、オンライン検索、共通利用券の発行</p> <p>・読み聞かせサークル交流会</p> <p>4/22（土）子どもの集い 【大人18名、子ども26名参加】</p> <p>子ども読書週間に合わせて大型絵本の読み聞かせなどを実施した。</p> <p>終了後、事業協力者である読み聞かせサークル会員同士の交流会を実施した。</p> <p>・おはなし会 【延べ大人43名、子ども48名参加】</p> <p>年9回（毎月第4土曜日）※4月、7月、12月を除く</p>
--	--

	<p>絵本・大型絵本の読み聞かせ、紙芝居等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏のお楽しみ会 7/29 (土) 【大人12名、子ども23名参加】 絵本の読み聞かせ、紙芝居、なぞなぞ、くじびき等を実施。 ・クリスマスおはなし会 12/23 (土) 【大人21名、子ども16名参加】 大型絵本の読み聞かせ、紙芝居、ペープサート等を実施。 ・図書ボランティア体験 7/27 (木) 【6名参加】 図書コーナー業務の体験 (貸出、返却、利用者登録等) ・てづくり絵本の募集と展示 【8名から19点出展】 募集 9/26 (火) ~10/22 (日) 展示 10/27 (金) ~11/19 (日) 内容、製本ともにてづくりの作品を募集し、期間内において展示。
自己評価	B
評価理由	<p>新着図書の情報提供を行うことで、利用者が増加しているほか、黒石市にまつわる本の特設コーナーを設けたことで、利用者に興味をもっていただいたようで、本の貸し出し数が増加した。</p> <p>また、出前おはなし会などを実施するうえで、読み聞かせグループや図書関係団体と連携を図ることで、より良い内容で展開することができている。</p>
問題点	<p>読み聞かせ団体の「黒石おはなし・むくむく」の会が解散となり、出前おはなし会などの事業に対応していただいている団体が減少した。</p> <p>大きな団体の解散であったため、今後は既存団体との情報交換を密にし、また、個人会員の入会も視野に入れ、読み聞かせ依頼に対応できる体制を整えていく。</p>
今後の取組	<p>県立図書館、ほるぷ子ども館と連携を強化し、図書情報を共有しながら、読み聞かせ活動をしているサークルや団体の情報、新刊図書や推薦図書の情報を、市広報やインターネットを活用し、広く市民へ提供していく。</p> <p>また、読書サービスを推進するため、図書コーナー職員及び読み聞かせボランティアの方々に積極的に研修会などへの参加を促し、専門的な知識を習得させ、資質の向上に努めるとともに、読み聞かせ団体との交流を深め、事業への協力体制を整える。</p>
外部評価	B

事業名	市民大学事業				【継続】
予算	当初	168千円	決算	96千円	執行率 57.1%
事業計画	① 移動学習を含む様々な講座の開催				
事業実績	・報償費	50千円	・旅費	10千円	・消耗品費 30千円

	<ul style="list-style-type: none"> ・食糧費 1千円 ・通信運搬費 1千円 ・保険料 1千円 ・賃借料 3千円 <ul style="list-style-type: none"> ・6/14 (水) 産業会館 13:15~15:00 【46名参加】 テーマ 「手話ミニ体験講座」 講師 黒石ろうあ協会 会長 小山内 裕子 氏 内容 講演 ・6/21 (水) 産業会館 13:30~15:00 【47名参加】 テーマ 「米ちゃんのおもしろお山の話っこ」 講師 日本山岳ガイド 米坂 恵子 氏 内容 講演 ・6/28 (水) 産業会館 13:30~15:00 【51名参加】 テーマ 「黒石藩と平内のかかわりについて」 講師 青森県文化財保護協会 副会長 鬼柳 恵照 氏 内容 講演 ・7/ 5 (水) 平内町 8:15~16:30 【41名参加】 テーマ 「黒石のルーツを探る ～黒石藩と南部藩の藩境塚」 講師 青森県文化財保護協会 副会長 鬼柳 恵照 氏 内容 移動学習 ・7/12 (水) 産業会館 13:30~15:00 【38名参加】 テーマ 「生活習慣と感染予防」 講師 弘前大学大学院 保健学科 教授 高橋 徹 氏 内容 講演 <p>・執行率が30%以上増減した理由 無料の講師や会場を活用したため。</p>
自己評価	A
評価理由	事業計画通り実施できた。アンケートでは、いろいろな分野からの講座内容でとても楽しく有意義に勉強することができ、来年度もぜひ受講したいと回答した参加者は約8割以上あり、好評だった。また、移動学習は事前に現地まで出向き、講師と現地及び内容確認しながら実施したため、参加者からは非常に興味深く良かったとの意見がでており充実した移動学習になった。
問題点	なし
今後の取組	今後も、参加者が興味を持って楽しく学習できるよう多分野からの内容となるように講座内容を決めていく。
外部評価	A

事業名	実年式事業			【継続】		
予算	当初	171千円	決算	147千円	執行率	86.0%
事業計画	① 式典の挙行、地区毎の記念写真撮影の実施					
事業実績	<p>・時間外 32千円 ・報償費 30千円 ・消耗品費 9千円 ・通信運搬費 46千円 ・賃借料 22千円 ・負担金 8千円</p> <p>・12/3(日) グリーンパレス松安閣 【63名参加】 演題 「じよっばる・けっばる・手こふっばる」 講師 方言研究家・川柳作家 渋谷 伯龍 氏 内容 記念講演</p> <p>対象者が事業を通して、今後の人生において生きがいのある生活を送るため、より一層の社会参加と地域づくりへの理解を深める一助とすることができた。</p>					
自己評価	A					
評価理由	「実年式」及び「実年を祝う会」を開催したことによって、新たに実年グループ「あずましの会」が立ち上がった。今後の会の活動が期待されるとともに、会員同士のつながりが別の新たな活動に結び付き、地域活動の盛り上がり波及していくことが期待できる。					
問題点	なし					
今後の取組	アクティブシニアとしての活動の推進を図る必要があるため、新たな社会参加・地域参画への自覚と意識向上を図っていく。					
外部評価	A					

事業名	家庭教育向上事業			【継続】		
予算	当初	392千円	決算	122千円	執行率	31.1%
事業計画	① 地域全体で家庭教育の支援体制づくりを進めることを目的とした講座等の学習会の実施					
事業実績	<p>・家庭教育講座 ・家庭教育支援セミナー ・家庭教育推進協議会</p> <p>・報酬 37千円 ・時間外 2千円 ・報償費 46千円 ・旅費 2千円 ・消耗品費 29千円 ・通信運搬費 6千円</p>					

◆家庭教育向上事業

子どもの生活習慣の習得や自立心の育成など教育の原点である家庭教育が、自覚と責任によって行われるよう、様々な学習機会の提供と支援者の人材育成・発掘により、幅広い家庭教育の支援に努めるとともに、家庭教育の拡充としては、講座等の学習会を通して、子育てや家族のあり方・役割を認識させ、地域全体で家庭教育の支援体制づくりを進めた。

◇家庭教育講座

学校、PTAと連携し講座を実施することで、三者間での家庭教育に関する課題の共有と、連携体制の強化を図った。

- ・ 6/28 (水) 牡丹平小学校 【43名参加】

テーマ 「不登校児童への理解と支援」

講師 黒石市教育委員会 指導課 指導主事 小山内 徹 氏

- ・ 9/ 6 (水) 六郷小学校 【81名参加】

テーマ 「Mr. オカゲンの教育マジック」

講師 岡元 淳一 氏

- ・ 12/ 6 (水) 上十川小学校 【40名参加】

テーマ 「学校給食について」

講師 黒石市健康推進課 主査 増川 由香理 氏

追子野木小学校 栄養教諭 小田桐 優子 氏

- ・ 12/14 (木) 黒石東小学校 【445名参加】

テーマ 「子どもの睡眠について～睡眠時間が学力に与える影響～」

講師 青森県立中央病院 医療管理監 小野 正人 氏

◇家庭教育支援セミナー

家庭教育に係る支援者候補生を募集し、実行委員方式で以下のイベントの計画・実施・ふりかえりを行うことで、支援者候補生の育成を図った。

- ・ 11/12 (日) 「笑○和」ひろばへ家族でGO! 【16名参加】

テーマ 「子どもとの接し方」

講師 心理士 新谷 由美子 氏

内 容 ・ミニ講座

- ・体験コーナー（読み聞かせコーナー、手作りコーナー、カプラコーナー、箱の中身は何だろな？、クイズコーナー、ストラックアウト）

◇家庭教育推進協議会

- ・ 5/16 (火) 「第1回会議」年間日程発表、本年度事業概要報告

- ・ 10/25 (水) 「第2回会議」中間報告、次年度事業計画案策定

- ・ 2/ 7 (水) 「第3回会議」実績報告、次年度計画案発表

	<p>・執行率が30%以上増減した理由</p> <p>家庭教育講座が平日の日中開催されたことにより時間外勤務手当が抑えられた他、無料の講師を活用したため報償費を抑えることができた。</p>
自己評価	B
評価理由	家庭教育向上事業の事業目的は達成することができたが、家庭教育支援セミナーは参加人員が昨年度に引き続き少ない。
問題点	家庭教育支援セミナーの参加人員が少ないため、実行委員会でイベントの内容や周知方法などを考える必要がある。
今後の取組	家庭教育講座は、小・中学校及びPTAを対象に実施してきたが、今後は幼稚園・保育園・認定こども園も対象に追加して実施していく。
外部評価	A

事業名	地域力（黒石力）向上事業 【継続】		
予算	当初 343千円	決算 204千円	執行率 59.5%
事業計画	① 地域力（コミュニティ力）の向上を目的とした研修会の実施 ② 公民館職員の資質向上を目的とした学習会の実施		
事業実績	<p>・時間外 69千円 ・報償費 47千円 ・旅費 52千円 ・消耗品費 35千円 ・通信運搬費 1千円</p> <p>①地域力（コミュニティ力）の向上を目的とした研修会の実施 【204千円】</p> <p>・10/24（火）産業会館 18:30～20:00 【27名参加】 テーマ 「外国人から見た黒石市の地域の魅力」 講師 元 黒石市教育委員会 ALT講師 イアン・ハミルトン 氏 内容 講演</p> <p>・11/21（火）産業会館 18:30～20:30 【18名参加】 テーマ 「世代を繋ぎ持続可能な地域づくり」～大山自治会の事例から～ 講師 東京都立川市 大山自治会 相談役 佐藤 良子 氏 内容 講演</p> <p>・12/19（火）産業会館 18:30～20:30 【23名参加】 テーマ 「課題を見出し、解決に取り組む地域づくり」 講師 五所川原市七和地区活性化協議会 事務局長 飛嶋 献 氏 内容 講演</p> <p>②公民館職員の資質向上を目的とした学習会の実施</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・5/11 (木) 上十川公民館 13:30～15:30 【17名参加】 テーマ 「公民館・地区センターにおける指定管理業務の仕組み」 講師 社会教育課 職員 内容 講義 ・6/6 (火) 西部地区センター 13:30～15:30 【18名参加】 テーマ 「地域コミュニティ活性化に向けた公民館の役割」 講師 社会教育課長 内容 講義 ・8/10 (木) 追子野木公民館 13:30～16:00 【18名参加】 テーマ 「学・社連携について」 講師 社会教育課 職員 内容 ワークショップ ・11/9 (木) 中郷公民館 13:30～16:30 【19名参加】 テーマ 「社会教育と生涯学習」 講師 社会教育課長 内容 講義 <p>・執行率が30%以上増減した理由 公民館職員の資質向上を図るための学習会の開催について検討し、現行の公民館業務に沿った内容としながら、実施に伴う講師を当課の職員が担ったことにより、外部講師に係る経費が抑えられた。</p>
自己評価	B
評価理由	<p>地域力（コミュニティ力）の向上を目的とした研修会の実施については、市全体としての視点から地域課題や当面の問題を探り、今後の地域のコミュニティ活動の参考となるテーマや内容及び講師を選定したことで、地域づくりに焦点をあてた学習機会を提供することができた。</p> <p>また、公民館職員の資質向上を目的とした学習会の実施については、予算をかけず、社会教育課長及び職員が講師となり、公民館職員の資質向上に必要と思う学習機会を設けた。</p>
問題点	<p>地域コミュニティをより一層強化にして行くためには、地区協議会、公民館及び社会教育課が一緒になって地域の問題を検証し、解決を図るための課題設定や、学びを主体とした地域づくりに取り組んでいく必要がある。</p> <p>また、公民館職員の資質向上を図るうえで、外部講師を招くことも必要であるが、社会教育及び公民館活動に関する知識を有しながら公民館職員に助言等を行える当課職員の育成も必要である。</p>
今後の取組	<p>市内10地区を三箇年にわたり年3地区程度を選定し、当該地区において地区協議会及び公民館が中心となり、行政と連携ながら地区住民や各種団体等とともに地域や生活などの問題を探り、話し合いの中から解決策を見出してい</p>

	く。
外部評価	B

事業名	コミュニティネットワーク研修会事業 【継続】		
予算	当初 21千円	決算 17千円	執行率 81.0%
事業計画	① 企画課主催「黒石市生涯学習のまちづくり研究大会」と共催で講演会を実施		
事業実績	<p>・時間外 16千円 ・通信運搬費 1千円</p> <p>・2/19（月）黒石市産業会館 18:30～20:00 【51名参加】</p> <p>テーマ 「気づきから学び、そして成長へ」 ～人との繋がりから黒石のまちそだてへ～</p> <p>講師 NPO法人 横町十文字まちそだて会 理事 リー・ニョクペン氏</p> <p>内容 講演</p>		
自己評価	B		
評価理由	共催部署と連携を図りながら、市全体としての視点からまちづくりに関する課題を探るとともに、市民が地域活動に取り組むための参考となるテーマや内容及び講師を選定し、有用な学習機会が提供できた。		
問題点	予算配分の都合上、開催日、内容、講師などの決定は主に企画課が主導となるが、市内各地域におけるコミュニティ活動の活性化を図るため、当課としては県内外において地域活動を実践している方々の情報を集め、研修会に反映できるように、今後も打ち合わせの段階から企画課と連携を密にしていく。		
今後の取組	共催部署と連携を図りながら実施内容を精査し、市のまちづくりに必要とされる内容を市民に提供していく。		
外部評価	B		

事業名	学・社連携研修会事業 【継続】		
予算	当初 111千円	決算 43千円	執行率 38.7%
事業計画	① 学校・家庭・地域それぞれの役割の重要性を認識させ、子どもを取り巻く学校教育内外の環境づくりや健全育成を図ることを目的とした研修会の実施		
事業実績	<p>・時間外 18千円 ・報償費 18千円 ・旅費 1千円</p> <p>・通信運搬費 1千円 ・使用料 5千円</p>		

	<p>・2/1（木）スポカライン黒石 大会議室 18:30～20:30 【68名参加】 テーマ 「地域で子ども達の成長を支える地域学校協働活動とは」 講師 弘前大学 教育学部 准教授 松本 大 氏 内 容 講演</p> <p>・執行率が30%以上増減した理由 当初、学校適正配置に伴い、山形県に空き校舎を活用して地域活動に繋げる取組を手掛けていた方を講師としてお招きする予定であったが、講師との日程が合わなかった。 同時期に、社会教育法の改正に伴い「地域学校協働活動への啓発」「本部設置の義務化」の課題が出されており、地域と教職員へ活動の仕組みを理解していただく研修会の実施へと転換した。 弘前大学に、地域学校協働活動の情報を得て研究されている方がおられ、その方に講師を依頼したことから、山形県から講師を招く必要がなくなった。</p>
自己評価	B
評価理由	社会教育法の改正を受け、学校と地域が連携及び協働して、地域全体で子ども達の成長を支える「地域学校協働活動」の仕組みを学習する機会を提供することができた。
問題点	当初予定の地域活動に繋げる事業を実施する予定であったが、講師との日程調整が上手くいかなかった。
今後の取組	学校・地区・公民館関係者相互の共通理解のもと、学校と地域の連携による地域学校協働活動を推進するための研修会を、平成32年度の学校適正配置完了まで実施する。
外部評価	B

事業名	社会教育委員関係事業				【新規】	
予算	当初	366千円	決算	251千円	執行率 68.6%	
事業計画	① 前年度事業報告審議の実施 ② 社会教育施設視察等後の意見交換会の実施 ③ 新年度事業審議の実施					
事業実績	・委員報酬	195千円	・時間外	14千円	・旅費	2千円
	・消耗品費	8千円	・通信運搬費	4千円	・負担金	28千円

◆黒石市社会教育委員関係

①前年度事業報告審議の実施

- ・ 5/23 (火) 第1回黒石市社会教育委員会議 【6名参加】
平成28年度社会教育課・文化スポーツ課事業実績報告について
平成29年度社会教育課・文化スポーツ課職員体制と事務分掌について
社会教育施設訪問計画(案)について

②社会教育施設視察等後の意見交換会の実施

- ・ 9/28 (木) 【5名参加】
山形公民館、牡丹平公民館、浅瀬石公民館、西部地区センター、
東公民館
- ・ 10/3 (火) 【5名参加】
追子野木公民館、中郷公民館、六郷公民館、上十川公民館、中部公民館

③新年度事業審議の実施

- ・ 3/23 (金) 第2回黒石市社会教育委員会議 【7名参加】
平成30年度社会教育課・文化スポーツ課の重点施策(案)について
平成30年度社会教育課・文化スポーツ課の事業計画(案)について

◆中南地方社会教育委員連絡協議会関係

- ・ 5/9 (火) 監査会、第1回役員会 【20名参加】
平成28年度会計監査について
平成28年度事業報告、収支決算報告について
平成29年度事業計画(案)、収支予算(案)について
平成29年度総会について
- ・ 5/26 (金) 総会 【47名参加】
総会
社会教育事業報告会(大鰐町、田舎館村、黒石市)
講 話「次世代の地域と学校をクリエートするために」
講 師 弘前大学教育学部 名誉教授 佐藤 三三 氏
情報交換会
- ・ 6/22 (木) 中南地方社会教育委員連絡協議会研修会 【55名参加】
テーマ：「教育の根幹とはなにか！」
- ①研修 講 話「命の尊さと教育の大切さを考える」
講 師 ルワンダの教育を考える会
理事長 永遠瑠・マリールイズ 氏
情報提供 JICA青森デスク 大場 由太 氏
- ②研修 意見交換 テーマについてマリールイズ氏と意見交換
司 会 中南教育事務所 社会教育主事 鳴海 博史 氏
- ・ 9/8 (金) 中南地方社会教育委員連絡協議会研修会 【32名参加】
平成29年度第49回青森県社会教育研究大会

研究主題：「社会教育の新たな種を広めよう青い森から全国に」
～課題をチャンスに
持続可能な未来を創る社会教育の実践を～

講演：「ないものねだり」から「あるものさがし」へ
～地域資源活用のまちづくり～

分科会：第1（社会教育委員の職務の現状と課題）
第2（家庭教育支援）
第3（社会教育施設・地域づくり）
第4（学校教育と社会教育との協働）

・10/18（水）中南地方社会教育委員連絡協議会研修会 【70名参加】

講演：「地域に生きる・活かす コミュニティの底力」
～人と人とのつながりを活かした地域づくり～

講師：おおいた観光特使 矢野 大和 氏

・1/30（火）第2回役員会 【30名参加】

平成29年度事業報告、収支決算（見込み）について
平成30年度事業計画（案）、収支予算（案）について
平成29年度第4回中南地方社会教育委員連絡協議会研修会について
第60回全国社会教育研究大会青森大会の役割分担について

・2/21（水）中南地方社会教育委員連絡協議会研修会 【46名参加】

社会教育法の改正について
講師：中南教育事務所 社会教育主事 鳴海 博史 氏

講演：「地域と学校の連携活動の課題」
～子どものまちを例に協働と公共を考える～

講師：弘前大学生涯学習教育センター 深作 拓郎 氏

◆青森県社会教育委員連絡協議会関係

・5/17（水） 【1名参加】

第60回全国社会教育研究大会青森大会準備委員会

1. 大会実行委員会運営要（案）について
2. 大会開催要項（案）について
3. 大会予算（案）について

第1回理事会

1. 平成28年度事業報告・収支決算（案）について
2. 平成29年度事業計画（案）・収支予算（案）について
3. 平成29年度総会（案）について
4. 県社会教育研究大会について

・6/15（木） 【1名参加】

第2回理事会

1. 平成29年度県表彰受賞者の決定について

	<p>2. 平成 29 年度東北表彰候補者の推薦について</p> <p>3. 平成 29 年度全国表彰候補者の推薦について</p> <p>4. 平成 29 年度青森県社会教育研究大会について</p> <p>総会</p> <p>1. 平成28年度事業報告・収支決算(案)について</p> <p>2. 平成29年度事業計画(案)・収支予算(案)について</p> <p>3. 平成29年度青森県社会教育研究大会について</p> <p>4. 第60回全国社会教育研究大会準備の進捗状況について</p> <p>・ 7/20 (木) 【1名参加】</p> <p>第 60 回全国社会教育研究大会青森大会実行委員会</p> <p>1. 運営要項について</p> <p>2. 大会概要について</p> <p>3. 大会要項(素案)について</p> <p>4. 大会専門部会役割分担表(案)について</p> <p>・ 9/11 (月)～13 (水) 【1名参加】</p> <p>第 59 回全国社会教育研究大会北海道大会</p> <p>大会スローガン</p> <p>「北の国から地域を拓く」～腹いっぱいしゃべり合おう～</p> <p>研究主題</p> <p>「まちづくり・人づくりに地域ぐるみで取り組む社会教育の在り方」</p> <p>～今こそ、社会教育委員の出番～</p> <p>・ 10/13(金) 【2名参加】</p> <p>青森県公民館フォーラム</p> <p>研究テーマ「これからの社会教育のあり方と公民館」</p> <p>講 師 東北大学大学院教育学研究科 准教授 石井山 竜平 氏</p> <p>・ 2/2 (金) 【1名参加】</p> <p>第 3 回理事会</p> <p>1. 社教連総会、全国大会、東北大会等の参加報告について</p> <p>2. 平成29年度事業報告(案)・決算見込みについて</p> <p>3. 平成30年度事業計画(案)について</p> <p>4. 平成29年度青森県社会教育研究大会のアンケート結果について</p> <p>5. 第60回全国社会教育研究大会進捗状況について</p> <p>・ 執行率が30%以上増減した理由</p> <p>費用弁償、通信運搬費等が当初予算見込み額より下回ったため。</p>
自己評価	A
評価理由	社会教育委員会議において決定した社会教育施設視察及び意見交換会を予定どおり実施し、各地区協議会長、館長及び事務員から社会教育に関する取組を

	<p>展開していく中での課題を聞きながら、社会教育委員と活発な意見交換をすることができた。</p> <p>中南地区関係の研修会等の開催及び県関係の会議等への参加も予定通り実施することができた。</p>
問 題 点	なし
今後の取組	<p>平成30年度からは、社会教育委員の意見がさらに予算にも反映されるよう次年度予算が編成される前の9月頃に社会教育委員会議を開催する。</p> <p>また、今年度は地域と学校が連携し地域を活性化するため、教育委員との意見交換会を実施する。</p> <p>中南関係では、全国社会教育研究大会が青森市において開催され中南地区は第1分科会の運営を担当することとなっているため、中南教育事務所、管内社会教育委員と連絡を密にし、有意義な大会となるよう努める。</p>
外部評価	A

事業名	公民館関係事業			【継続】
予 算	当初 68,497千円	決算 68,130千円	執行率	99.5%
事業計画	① 各公民館の管理・運営に係る指定管理業務委託等			
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬 4,815千円 ・時間外 355千円 ・消耗品費 854千円 ・通信運搬費 12千円 ・委託料 60,551千円 ・使用料 40千円 ・工事請負費 1,446千円 ・負担金 57千円 <p>◆主な業務として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館長報酬 9名 4,815千円 ・消耗品費 各公民館AED用バッテリー及びパッドカートリッジ購入 681千円 ・委託料 <ul style="list-style-type: none"> 中郷公民館指定管理料 7,542千円 六郷公民館指定管理料 5,963千円 山形公民館指定管理料 7,514千円 浅瀬石公民館指定管理料 7,582千円 東公民館指定管理料 7,549千円 中部公民館指定管理料 8,380千円 牡丹平公民館指定管理料 7,426千円 上十川公民館指定管理料 8,530千円 ・工事請負費 <ul style="list-style-type: none"> 東公民館玄関扉改修工事 258千円 上十川公民館屋上防水改修工事 1,188千円 			

自己評価	A
評価理由	<p>指定管理事業において、指定管理者及び公民館事務員と連携を密にしながら、円滑な施設の管理運営ができた。</p> <p>また、自然災害が危惧される警報が発令された場合や、それに伴う自主避難者への対応に関しては、作成した緊急連絡網を基に、各公民館・地区センター職員と社会教育課が連携し行うことができています。</p> <p>施設の整備に関しては、限られた予算の中で、計画的に改修工事等を実施したほか、関係部署と連携を図り、次年度へ向けた改修計画を立てることができた。</p>
問題点	なし
今後の取組	<p>指定管理者及び公民館等職員と連携を図りながら、効果的且つ円滑に施設の維持管理及び公民館業務の遂行に努めるとともに、平成32年度からの指定管理業務更新時に向けて、指定管理業務の内容等を各地区指定管理者と一緒に精査していく。</p> <p>また、社会教育課所管の施設の老朽化が進んでいることから、関係部署と連携を図りながら適正な改修計画を立て、施設の維持管理に努めるとともに、利用者の安全と利便性を確保する。</p>
外部評価	A

事業名	追子野木公民館管理運営事業			【継続】		
予算	当初	5,581千円	決算	5,362千円	執行率	96.1%
事業計画	① 追子野木公民館の管理・運営に係る業務					
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共 済 費 539千円 ・ 旅 費 14千円 ・ 食 糧 費 2千円 ・ 手 数 料 25千円 ・ 賃 金 3,865千円 ・ 消耗品費 173千円 ・ 光熱水費 239千円 ・ 委 託 料 184千円 ・ 報 償 費 60千円 ・ 燃 料 費 151千円 ・ 通信運搬費 95千円 ・ 使 用 料 15千円 <p>◆主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンテナガーデン教室 4/22 (土) 【14名参加】 ・ 走り方教室 5/14 (日) 【60名参加】 ・ 放課後ハンドメイド教室 6/14 (水) 9/6 (水) 9/13 (水) 【138名参加】 ・ ワイン講座 6/30 (金) 【21名参加】 ・ 地域学習講座 7/29 (土) 【30名参加】 ・ 地域コミュニティ講座 10/15 (日) 【60名参加】 					

	<ul style="list-style-type: none"> ・ハロウィンパーティー 10/29 (日) 【80名参加】 ・秋の味覚まんさい料理教室 10/31 (火) 【18名参加】 ・ヨガ教室 11/26 (日) 【31名参加】 ・しめ縄作り教室 12/16 (土) 【17名参加】 ・男の料理教室 1/27 (土) 【16名参加】 ・恵方巻き作り教室 2/3 (土) 【44名参加】 ・地区交流雪まつり 2/11 (日) 【150名参加】
自己評価	A
評価理由	<p>館長及び公民館事務員と連携を密にしながら、予算内において円滑な施設の管理運営を行うことができた。</p> <p>また、主催事業においては、公民館事務員の企画力により、様々なジャンルの学習機会が提供されているほか、公民館事務員が子ども達に様々な事を教える知識や技術を有しており、有用な事業が展開されている。</p>
問題点	なし
今後の取組	引き続き、館長及び公民館事務員と連携を図り、適正な管理運営を行う。
外部評価	A

事業名	黒石公民館改修事業			【新規】
予算	当初 40,332千円	決算 38,297千円	執行率	95.0%
事業計画	① 市教育委員会事務所としての最低限の機能を確保する改修工事			
事業実績	・工事請負費 38,297千円			
自己評価	A			
評価理由	予算内において適切な改修工事が行われ、最低限の機能が確保された。			
問題点	なし			
今後の取組	なし			
外部評価	A			

事業名	黒石ほるぷ子ども館費			【継続】
予算	当初 4,945千円	決算 4,835千円	執行率	97.8%
事業計画	① 図書関連施設との連携、図書情報の共有、読み聞かせ団体及びサークルの活動支援等			

	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなしのじかん ・夏、冬休みお楽しみ会 ・絵本展示 ・図書選定会 ・図書の団体貸出 ・新刊図書情報紙の発行 ・読書需要調査 ・読み聞かせサークル交流会 等
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・共 済 費 224千円 ・旅 費 2千円 ・光熱水費 159千円 ・工事請負費1,174千円 ・積立金 39千円 ・賃 金 2,399千円 ・消耗品費 64千円 ・通信運搬費 98千円 ・備品購入費 120千円 ・報 償 費 16千円 ・燃 料 費 279千円 ・委 託 料 258千円 ・使 用 料 3千円 <p>工事請負費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほるぷ子ども館塀設置工事 1,125千円 ・ほるぷ子ども館ボイラー室扉改修工事 49千円 <p>◆主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなしのじかん <ul style="list-style-type: none"> 4／ 8（土）【25名参加】（大型絵本・ペープサート等） 6／10（土）【 8名参加】（絵本・ジャンケン遊び） 7／ 8（土）【18名参加】（絵本・大型絵本等） 9／ 9（土）【10名参加】（絵本・紙芝居等） 10／14（土）【25名参加】（ストーリーテリング等） 12／ 9（土）【19名参加】（紙芝居・読み聞かせ等） 1／13（土）【 7名参加】（ブックトーク・読み聞かせ） 2／10（土）【 8名参加】（読み聞かせ・紙芝居等） 3／10（土）【13名参加】（読み聞かせ・紙芝居等） ・春のおはなし会 <ul style="list-style-type: none"> 5／13（土）【41名参加】（読み聞かせ・歌遊び等） ・秋のおはなし会 <ul style="list-style-type: none"> 11／11（土）【52名参加】（朗読劇・音楽劇） ・夏休みちゃれんじ <ul style="list-style-type: none"> 7／26（水）【20名参加】（オリジナルバンドナ作り） ・冬休みちゃれんじ <ul style="list-style-type: none"> 12／19（火）【14名参加】（クリスマスのかざり作り） ・絵本展示 4月～3月 毎月のテーマに沿って、新着本などを随時展示

	<ul style="list-style-type: none"> ・図書選定会 6/30 (金) 【東英小学校読み聞かせ団体 会員8名参加】 ・図書の団体貸出 上十川公民館【100冊】、六郷公民館【100冊】 たけみ保育園 5・9月【200冊】 ・新刊図書情報誌の発行 ほるぷ子ども館情報の発行(山形公民館広報紙に併載)【毎月1回発行】 おはなし会等の行事の案内、おすすめ図書の紹介 他 ・読書需用調査 4月～3月 ニーズを把握するため、リクエストカードに記入してもらう ・読み聞かせサークルの支援 4/12(水)～2/28(水)【11名参加】 東英小学校 朝の読み聞かせ(実演)18回 県立黒石養護学校訪問おはなし会(小学部)10/19(木) 会員の情報交換・意見交換・交流他 4/26(水)・6/16(金)・8/22(火)・11/22(水)
自己評価	A
評価理由	<p>子ども達が読書活動の楽しさを知り、本と触れ合う機会を提供するため、様々な事業が展開できている。</p> <p>また、講師や読み聞かせ団体の方々との交流会を実施したことにより、多様な情報を交わすことができた。</p>
問題点	なし
今後の取組	<p>子どものうちから読書意欲を高め、読書活動を推進していくために、読み聞かせを初めとした本と触れ合う機会の提供と、大人が子どもの読書活動に対し積極的に働きかける環境づくりに取り組んでいく。</p> <p>子ども読書活動を推進する団体やサークルに対して、活動場所の提供や活動に必要な知識・技術を習得するための学習機会の提供及び支援を行う。</p> <p>また、「黒石ほるぷ子ども館」という子ども図書館の存在を、校長会などを通じて市内の子ども達や教職員に対してPRする。</p>
外部評価	A

事業名	青少年・少年団体関係事業			【継続】		
予算	当初	376千円	決算	228千円	執行率	60.6%
事業計画	① 高校生ボランティア活動表彰業務 ② 少年団体育成指導員関連業務 ③ 青少年育成団体への活動支援業務					
事業実績	・委員報酬	20千円	・時間外	119千円	・報償費	45千円
	・消耗品費	8千円	・通信運搬費	9千円	・負担金	27千円

	<p>① 高校生ボランティア活動表彰業務 平成 29 年度は各高等学校や市内子ども会リーダー会などに表彰候補者の推薦を依頼したが、対象者がいない結果となった。</p> <p>② 少年団体育成指導委員関連業務 少年団体育成指導委員を対象に計 4 回会議を行った。【延べ 28 名参加】 当課事業を始め、委員から子ども会リーダー会へ指導・助言を行い、少年団体活動の育成の増進を図った。</p> <p>③ 青少年育成団体への活動支援業務 市子ども会育成会や各子ども会リーダー会の活動の支援・助言を行い、青少年の育成環境を整え、青少年の育成力の向上を図った。</p> <p>・執行率が 30%以上増減した理由 少年団体育成指導委員の会議の出席率が低かったため。</p>
自己評価	B
評価理由	少年団体育成指導委員から市や少年団体に対しての助言をいただき、育成の向上を図った。
問題点	少年団体育成指導委員が講師として活動する機会が少なかったため。
今後の取組	当課を含む青少年活動への少年団体育成指導委員の活用を促し、市内全体の青少年の育成力の向上を図る。
外部評価	B

事業名	子ども宿泊体験学習会事業			【継続】		
予算	当初	541千円	決算	283千円	執行率	52.3%
事業計画	① 各公民館・地区センターでの宿泊を通じた学習会の実施					
事業実績	<p>・時間外 41千円 ・報償費 134千円 ・消耗品費 27千円 ・食糧費 81千円</p> <p>各公民館・地区センターにおいて、レクリエーション、体験学習、社会見学、壁新聞づくり等の内容を、下記の日程で実施した。</p> <p>・中郷公民館 11/22 (水) ~23 (木) 【10名参加】 ・六郷公民館 11/21 (火) ~23 (木) 【10名参加】 ・山形公民館 7/21 (金) ~22 (土) 【14名参加】</p>					

	<ul style="list-style-type: none"> ・浅瀬石公民館 10/13 (金) ~ 14 (土) 【15名参加】 ・東公民館 11/3 (金) ~ 4 (土) 【7名参加】 ・中部公民館 9/9 (土) ~ 10 (日) 【7名参加】 ・追子野木公民館 7/24 (月) ~ 25 (火) 【11名参加】 ・上十川公民館 7/23 (土) ~ 24 (日) 【12名参加】 <p>・執行率が30%以上増減の理由 2地区で参加者が集まらず中止となった。 また、土日開催ではなく、平日の通常勤務中に行う地区もあったため。</p>
自己評価	B
評価理由	地区によって、協議会や婦人会、PTA、食生活改善委員などと連携して事業を行うなど、様々な特色のある、事業を実施できていたため。
問題点	2地区で参加者が集まらず、事業実施ができなかった。
今後の取組	未実施である2地区の公民館職員と問題点を探し、実施できるように努める。 また、学校適正配置など、地域環境の変化にも対応できるよう、合同開催を行うなどの実施方法を検討する。
外部評価	B

事業名	リーダーまるまじり体験塾事業	【継続】
予算	当初 675千円	決算 391千円 執行率 58.0%
事業計画	① 地区や各地区団体における次世代のリーダー育成、素養の向上を目的とした研修等の実施	
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外 174千円 ・報償費 9千円 ・旅費 32千円 ・消耗品費 47千円 ・食糧費 67千円 ・通信運搬費 5千円 ・保険料 11千円 ・賃借料 46千円 <p>① 8/6 (日) ~ 8 (火) 夜越山オートキャンプ場 (平内町) ※参加者が集まらず、中止。</p> <p>② 10/7 (土) ~ 8 (日) あじやらの森キャンプ場 (大鰐町) 星と森のロマントピア (弘前市) 【12名参加】</p> <p>・1日目 「2日目の体験学習のためにグループを結成し、集団作業を通してグループの結成を図る」 大鰐町の町中を散策し、歴史・文化を学んだ。 キャンプ場では、グループワークで参加者にこれからの黒石や今後も当事業を実施するためにどうするかを考え事務局に発表して</p>	

	<p>もらった。</p> <p>また、夕食の炊事の際には、災害時に使用する非常食の作り方も学び、個人としても成長を図った。</p> <p>・2日目 「グループで同じ目的のために協力し、協調性・自主性等を身につける。」</p> <p>2日目はロマントピア相馬へ向かい、実際に軽スポーツを全員で体験し、チームに分かれて実施した。相手チームに勝つためなどを話し合い、協力していた。</p> <p>・執行率が30%以上増減した理由</p> <p>当初は二泊三日で実施予定であったが、参加者が集まらなかったことで内容の見直しを図った結果、一泊二日となったため。また、日程の変更により少年団体育成指導委員を講師として予定していたが、予定が合わなかった。</p>
自己評価	B
評価理由	予定していた1回目に参加者が集まらず、事業内容の見直しを図ることになったため。
問題点	設定日を子ども達が出席できる日程調整をし、社会環境や生活習慣等の変化に対応する事業を展開していくことが重要である。
今後の取組	少年団体育成指導委員の意見を取り入れながら、子ども達が自ら積極的に参加しやすい事業を作っていく。
外部評価	B

事業名	銀河宇宙探検隊事業	【継続】		
予算	当初 472千円	決算 323千円	執行率	68.4%
事業計画	① 自然に対する興味や関心を高めることを目的とした自然環境体験学習（天文教室）の実施			
事業実績	<p>・時間外 90千円</p> <p>・消耗品費 34千円</p> <p>・使用料 2千円</p>	<p>・報償費 119千円</p> <p>・通信運搬費 13千円</p>	<p>・旅費 52千円</p> <p>・保険料 13千円</p>	
	市内小学校 4～5 年生及び継続を希望する中・高校生を対象に下記のテーマで実施。活動として、主に望遠鏡・早見番の使い方を学び、天体観測を行う。また、すばるの会の方々を講師に招き、天体に関する講義やビデオ上映なども実			

	<p>施し、天文の知識教養を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4/29 (土) 「中・高校生事前研修会」 六郷公民館 【7名参加】 ・ 5/13 (土) ～14 (日) 「入隊式」 「春の星空キャンプ」 六郷公民館 【13名参加】 ・ 6/23 (金) 「ジョンソンすい星と二大わく星」 六郷公民館 【12名参加】 (保護者も参加) ・ 7/15 (土) ～16 (日) 「夏の星空キャンプ」 六郷公民館 【13名参加】 ・ 9/22 (金) 「見てみよう！一番遠くのわく星“海王星”」 六郷公民館 【14名参加】 ・ 10/21 (土) 「自宅観察のまとめ」 「星と森のロマントピア天文台に行こう！」 黒石市産業会館 【10名参加】 星と森のロマントピア天文台「銀河」 ・ 11/26 (日) 「一年間のまとめ」 「帰船式」 黒石市産業会館 【13名参加】 <p>・ 執行率が 30%以上増減した理由 予定としていた講師の人員より少なかった。また、秋田県から講師を依頼予定であったが、市内の講師としたため。</p>
自己評価	A
評価理由	<p>参加者自らが積極的に講師へ疑問点を聞き、知識を深めている。 講師が大型望遠鏡を持参くださるため、参加者は、普段では体験できない天体観測を行うことができている。 また、集団行動をする際には、上級生が下級生の面倒をみる場面があり、参加者の中において自然な流れで次世代のリーダーが育成されている。</p>
問題点	なし
今後の取組	<p>新規申込者が一人だったことから、今後は学校へ訪問し、教職員に対し事業の趣旨や内容の説明を行い、参加への理解を求めるほか、募集のチラシや内容を「すばるの会」と検討し、新規加入者の獲得にあたる。 また、当時隊員だった方が、現在、大学生や社会人となり、事業の講師として協力いただいております。後継者の育成も行われていることから、今後も、指導者団体である「すばるの会」と連携を図り、人材育成、後継者育成も踏まえ、事業を実施していく。</p>
外部評価	A

事業名	成人式事業			【継続】		
予算	当初	742千円	決算	676千円	執行率	91.1%
事業計画	① オープニングセレモニー（アトラクション）を含む式典の挙行、記念撮影の実施					
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外 77千円 ・食糧費 1千円 ・賃借料 209千円 ・報償費 114千円 ・印刷製本費 190千円 ・1/7（日） 津軽伝承工芸館 【334名参加】 ・消耗品費 53千円 ・通信運搬費 32千円 <p>新成人を祝福、激励し、黒石市の将来を担う市民としての自覚を促すとともに、意識の高揚を図った。</p> <p>プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープニングセレモニー 出演者/津軽三味線奏者 渋谷 幸平 氏 ・式典 ・記念撮影 					
自己評価	A					
評価理由	アンケート結果では7割以上の新成人が式典を終えて「大人としての自覚を持つことができた」「社会貢献をしたいと思った」と回答しており、意識高揚の成果が表れていると思われる。					
問題点	なし					
今後の取組	今後も成人としての自覚と社会的責任への意識の啓発を図るとともに、一人の大人として自立し、自らの資質を高め社会に貢献しようとする意識の高揚を図っていく。					
外部評価	A					

事業名	市民文化会館運営事業			【継続】		
予算	当初	2,230千円	決算	1,564千円	執行率	70.1%
事業計画	① 市民文化会館の維持管理					
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外 10千円 ・通信運搬費 72千円 ・使用料 77千円 ・消耗品費 8千円 ・手数料 5千円 ・工事請負費 90千円 ・光熱水費 27千円 ・委託料 1,220千円 ・積立金 55千円 					

	◆委託業務 ・機械警備業務、ピアノ保守点検業務、デマンド報告業務、自家用電気工作物定例業務、施設管理業務
自己評価	A
評価理由	主に、休館中の文化会館を維持管理するため、最低限必要な委託業務及び改修工事を行った。
問題点	なし
今後の取組	引き続き、限られた予算の中において、最低限必要な維持管理業務を行っていく。
外部評価	A

事業名	青少年相談センター事業 【継続】																							
予算	当初 3,150千円	決算 3,105千円	執行率 98.6%																					
事業計画	① 街頭巡回及び特別巡回指導 ② 有害図書類の調査 ③ 非行防止キャンペーン ④ 指導員の資質向上のための研修会への参加																							
事業実績	<p>・報酬 2,640千円 ・時間外 35千円 ・共済費 303千円 ・消耗品費 9千円 ・燃料費 57千円 ・通信運搬費 36千円 ・負担金 25千円</p> <p>① 街頭巡回</p> <p>・専任指導員（1名）巡回延べ282回</p> <p>・指導員</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">4月 巡回12回 延べ26名参加</td> <td style="width: 25%;">5月 巡回13回 延べ30名参加</td> <td style="width: 25%;">6月 巡回16回 延べ38名参加</td> <td style="width: 25%;">7月 巡回14回 延べ28名参加</td> </tr> <tr> <td>8月 巡回14回 延べ31名参加</td> <td>9月 巡回12回 延べ34名参加</td> <td>10月 巡回13回 延べ30名参加</td> <td>11月 巡回 9回 延べ19名参加</td> </tr> <tr> <td>12月 巡回14回 延べ39名参加</td> <td>1月 巡回15回 延べ32名参加</td> <td>2月 巡回11回 延べ27名参加</td> <td>3月 巡回11回 延べ26名参加</td> </tr> </table> <p>指導回数 延べ157件</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>自転車無灯火 117件</td> <td>帰宅指導 21件</td> <td>自転車整備不良 7件</td> </tr> <tr> <td>自転車二人乗り 4件</td> <td>街頭指導 3件</td> <td>喫煙 2件</td> </tr> <tr> <td>その他 3件</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>② 有害図書類の調査</p>			4月 巡回12回 延べ26名参加	5月 巡回13回 延べ30名参加	6月 巡回16回 延べ38名参加	7月 巡回14回 延べ28名参加	8月 巡回14回 延べ31名参加	9月 巡回12回 延べ34名参加	10月 巡回13回 延べ30名参加	11月 巡回 9回 延べ19名参加	12月 巡回14回 延べ39名参加	1月 巡回15回 延べ32名参加	2月 巡回11回 延べ27名参加	3月 巡回11回 延べ26名参加	自転車無灯火 117件	帰宅指導 21件	自転車整備不良 7件	自転車二人乗り 4件	街頭指導 3件	喫煙 2件	その他 3件		
4月 巡回12回 延べ26名参加	5月 巡回13回 延べ30名参加	6月 巡回16回 延べ38名参加	7月 巡回14回 延べ28名参加																					
8月 巡回14回 延べ31名参加	9月 巡回12回 延べ34名参加	10月 巡回13回 延べ30名参加	11月 巡回 9回 延べ19名参加																					
12月 巡回14回 延べ39名参加	1月 巡回15回 延べ32名参加	2月 巡回11回 延べ27名参加	3月 巡回11回 延べ26名参加																					
自転車無灯火 117件	帰宅指導 21件	自転車整備不良 7件																						
自転車二人乗り 4件	街頭指導 3件	喫煙 2件																						
その他 3件																								

	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員が巡回時において、有害図書自動販売機の設置に関して状況確認を行っており、現在、市内には有害図書自動販売機は1台も設置されていない。 <p>③ 非行防止キャンペーン（特別巡回指導）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜まつり、横町夜店まつり、宵宮、こみせまつり、ねぶた、よされ、マッコ市において、特別巡回を実施。 <p>④ 指導員の資質向上のための研修会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/30（金）レストラン御幸 18:30～20:30 【21名参加】 <p>テーマ 「生徒指導の現状と課題」</p> <p>講 師 黒石市教育委員会 指導課 指導主事 小山内 徹 氏</p> <p>内 容 講演</p>
自己評価	A
評価理由	<p>巡回指導員の献身的な協力のもと、年間を通して非行防止活動を行っている。</p> <p>声掛けによる指導を行っているが、帰宅指導件数が増える傾向が見られることから、巡回強化を検討するとともに、指導員研修会において、青少年との接し方について学び、指導員の資質向上を図ることが必要である。</p>
問題点	なし
今後の取組	<p>自転車の無灯火は前年度と比較して減少しているが、夜間における帰宅指導の件数が増えている。</p> <p>同じ生徒が指導を受ける現状が度々あることから、巡回数を増やすことができないか検討するとともに、指導課及び黒石警察署との連携を強化し、子ども達に関する情報共有を図りながら非行防止活動に努める。</p>
外部評価	A

事業名	地区センター事業			【継続】
予算	当初 9,014千円	決算 8,727千円	執行率	96.8%
事業計画	① 西部地区センターの管理・運営に係る指定管理業務委託等			
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬 495千円 ・委託料 8,232千円 ・西部地区センター管理事業費 495千円 (社会教育課持分 地区センター所長報酬 495千円) ・西部地区センター指定管理料 8,232千円 			
自己評価	A			

評価理由	<p>指定管理事業において、指定管理者及び公民館事務員と連携を密にしなが ら、円滑な施設の管理運営ができた。</p> <p>また、自然災害が危惧される警報が発令された場合や、それに伴う自主避難 者への対応に関しては、作成した緊急連絡網を基に、各公民館・地区センター 職員と社会教育課が連携し行うことができている。</p>
問題点	なし
今後の取組	<p>指定管理者及び公民館等職員と連携を図りながら、効果的かつ円滑に施設の 維持管理及び公民館業務の遂行に努めるとともに、平成32年度からの指定管理 業務更新時に向けて、指定管理業務の内容等を各地区指定管理者と一緒になっ て精査していく。</p> <p>また、社会教育課所管の施設の老朽化が進んでいることから、関係部署と連 携を図りながら適正な改修計画を立て、施設の維持管理に努めるとともに、利 用者の安全と利便性を確保する。</p>
外部評価	A

4 文化スポーツ課

事業名	伝統的建造物群保存地区防災対策事業			【継続】		
予算	当初	5,457千円	決算	3,571千円	執行率	65.4%
事業計画	① 高橋家住宅、鳴海家住宅、中村家住宅の屋内パッケージ型消火設備工事に対して補助金を交付 ② 中町地区消火設備用ポンプの保守点検 年2回					
事業実績	① 高橋家住宅、鳴海家住宅、中村家住宅の屋内パッケージ型消火設備工事に対して補助金を交付した。 ② 中町地区消火設備用ポンプの保守及び点検（2回）を行った。 【事業費 3,570,407円：うち国1,625,000円】 時間外勤務手当 166,063円 費用弁償 64,000円 普通旅費 42,280円 消耗品費 27,956円 消火設備用ポンプの保守点検 54,108円 会場借上料 5,000円 歴史的景観保存事業補助金 3,161,000円（補助率 9/10以内） 全国伝建地区協議会負担金 50,000円 ※ 執行率について 歴史的景観保存事業補助金の当初見積額 4,979,000円に対し、交付決定額が3,161,000円となったため。					
自己評価	B					
評価理由	① 伝統的建造物群保存地区防災計画（短期計画）に基づき、大規模（500㎡超）な伝統的建造物に屋内パッケージ型消火設備を設置したことにより、初期消火体制の強化が図られた。 ② ポンプは適正に維持管理されている。					
問題点	事業費の見積り金額について、精査する必要がある。					
今後の取組	既設の防火設備について、毎戸が責任をもって適正に管理する体制づくりを図る。また、当該地区の防災計画については、より効率的・効果的なものとなるよう見直しを図る。					
外部評価	B					

事業名	伝統的建造物群保存地区修理・修景事業			【継続】		
予算	当初	8,851千円	決算	8,852千円	執行率	100.0%

事業計画	① レストラン御幸・土蔵扉及び外壁の修理工事に対して補助金を交付 ② 鳴海家住宅・屋根修理工事に対して補助金を交付
事業実績	① レストラン御幸・土蔵扉及び外壁の修理工事に対して補助金を交付した。 ② 鳴海家住宅・屋根修理工事に対して補助金を交付した。 【事業費 8,851,914円：うち国 4,426,000円】 消耗品費 20,914円 歴史的景観保存事業補助金 8,831,000円（補助率 9/10以内）
自己評価	A
評価理由	伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物を適正に保存するため、所有者及び黒石市歴史的景観保存審議会により緊急度・優先度が高いとされた2件の保存修理工事に対し補助を行った。
問題点	なし
今後の取組	歴史的建造物が適正に保全されるよう、修理・修景基準及び緊急度等についての審査基準の明確化を図り継続して計画的に実施する。 また、こみせ再生や修景を推進するため、補助制度の周知を図るなど啓発と働きかけを継続する。
外部評価	A

事業名	伝統的建造物群保存地区市補助事業			【継続】		
予算	当初	300千円	決算	250千円	執行率	83.3%
事業計画	① 鳴海家住宅の自動火災報知設備の保守点検に対して補助金を交付 ② 環境物件である鳴海家住宅庭園、高橋家住宅庭園、西谷家住宅庭園の維持管理に対して補助金を交付					
事業実績	① 鳴海家住宅の自動火災報知設備の保守点検に対して補助金を交付した。 ② 環境物件である鳴海家住宅庭園、高橋家住宅庭園、西谷家住宅庭園の維持管理に対して補助金を交付した。 【事業費 250,000円】 歴史的景観保存事業補助金 250,000円 (自火報) 67,000円（補助率 1/2以内） (環境物件) 183,000円（補助率 1/3以内）					
自己評価	A					
評価理由	鳴海家住宅の自動火災報知設備の保守点検は適正に行われた。 保存地区内で公開されている庭園は、通年を通して適正に維持管理された。					

問題点	なし
今後の取組	継続して実施する。
外部評価	A

事業名	国指定文化財管理事業 【継続】		
予算	当初 1,105千円	決算 928千円	執行率 84.0%
事業計画	① 重要文化財高橋家住宅の維持管理に対して補助金を交付 ② 名勝金平成園（澤成園）の庭園と建物の維持管理に対して補助金を交付		
事業実績	<p>① 重要文化財高橋家住宅の維持管理に対して補助金を交付した。</p> <p>② 名勝金平成園（澤成園）の庭園と建物の維持管理に対して補助金を交付した。</p> <p style="text-align: right;">【事業費 927,423円】</p> <p>時間外勤務手当 89,423円</p> <p>指定文化財管理事業費補助金 838,000円</p> <p style="padding-left: 40px;">重要文化財高橋家住宅指定文化財管理事業費補助金 72,000円 (補助率 県1/2以内、市1/4以内)</p> <p style="padding-left: 40px;">名勝金平成園（澤成園）指定管理事業費補助金 766,000円 (補助率1/3以内)</p>		
自己評価	A		
評価理由	重要文化財高橋家住宅、名勝金平成園（澤成園）ともに適正に維持管理された。		
問題点	なし		
今後の取組	継続して実施する。		
外部評価	A		

事業名	リーフレット作成事業 【継続】		
予算	当初 161千円	決算 130千円	執行率 80.7%
事業計画	① 名勝金平成園（澤成園）のポスター作成 100部		
事業実績	<p>① 名勝金平成園のポスター（A1版 100枚）を作成した。</p> <p style="text-align: right;">【事業費 129,600円】</p> <p style="padding-left: 40px;">印刷製本費 129,600円</p>		
自己評価	B		

評価理由	所有者の意思決定が遅れたことにより、発注時において開園期日が未決定であった。
問題点	4月下旬の開園を想定した場合には、遅くとも3月中旬にポスターを配布する必要がある。
今後の取組	秋の開期終了後園主と協議するなどし、改善を図る。
外部評価	B

事業名	庶務			【継続】		
予算	当初	620千円	決算	850千円	執行率	137.1%
事業計画	① 黒石市文化財保護審議会委員の報酬及び費用弁償の管理 ② 黒石市歴史的景観保存審議会委員の報酬及び費用弁償の管理 ③ 職員の人件費管理 ④ 共有の事務及び経費の管理 ⑤ 松の湯交流館建物損害共済分担金及びポンプ室等の保険料の管理 ⑥ 会議開催等に伴う事務及び経費の管理 ⑦ 黒石市歴史的景観保存基金寄附金及び基金の管理					
事業実績	①～⑦ 文化財保護に関する事務費 <p style="text-align: right;">【事業費 849,172円】</p> 黒石市歴史的景観保存審議会委員報酬 28,500円 時間外勤務手当 153,429円 普通旅費 2,880円 消耗品費 166,382円 通信運搬費 18,374円 保険料 121,853円 会議出席負担金(2件) 6,000円 積立金 351,754円 ※ 執行率について 黒石市歴史的景観保存基金積立金において、当初3,000円を見込んでいたが、350,000円の寄附金が寄せられ、これを積立金としたため。					
自己評価	A					
評価理由	事務は適正に執行された。					
問題点	なし					
今後の取組	適正な事務執行に努める。					
外部評価	A					

事業名	『黒石の文化財』印刷製本事業			【新規】		
予算	当初	575千円	決算	527千円	執行率	91.0%
事業計画	① 『くろいしの文化財』（第8版）が平成17年度に刊行された後に指定された文化財等に加え、『黒石の文化財』（第9版）を刊行する。					
事業実績	① 『くろいしの文化財』（第8版）が平成17年度に刊行された後に指定された国・県・市指定文化財、重要伝統的建造物群保存地区及び登録文化財について、それぞれ資料をまとめ、原稿を作成した。 ② 冊子のレイアウトを整えるとともに、掲載内容の精査を行った。 ③ 『黒石の文化財 第9版』として 200部刊行した。 <div style="text-align: right;">【事業費 526,725円】</div> 時間外勤務手当 29,925円 印刷製本費 496,800円					
自己評価	A					
評価理由	『黒石の文化財』は、適正に刊行された。					
問題点	なし					
今後の取組	文化財の状況により、必要と認められた時に改訂する。					
外部評価	A					

事業名	伝統的建造物群保存地区保存事業グループモニター式火災報知システム管理事業			【新規】		
予算	当初	340千円	決算	283千円	執行率	83.2%
事業計画	① 平成28年度に設置したグループモニター式火災報知システムに伴うクラウドサーバーの使用					
事業実績	① 伝建地区内のグループモニター式火災報知システムに伴うクラウドサーバーの使用料 <div style="text-align: right;">【事業費 282,800円】</div> クラウドサーバー使用料 282,800円					
自己評価	A					
評価理由	グループモニター式火災報知システムは、適正に稼働した。					
問題点	なし					
今後の取組	継続して実施する。					

外部評価	A
------	---

事業名	くろいし郷土かるた作成事業	【継続】
予算	当初 0千円	決算 0千円 執行率 ー
事業計画	黒石市の歴史や文化をはじめ、観光名所や物産品を題材にした「くろいし郷土かるた」の絵札作成	
事業実績	① H28年度に募集した読み句から、読み札に採用するものを選定した。 ② 黒石商業高等学校の協力を得て、絵札をデザインした。 ③ 読み札・絵札を公表し、8セット作成した。 【事業費 0円】	
自己評価	A	
評価理由	「くろいし郷土かるた」の絵札及び読み札（各8セット）が完成した。	
問題点	なし	
今後の取組	貸出要項を決定するほか、市広報等でのPRに努める。	
外部評価	A	

事業名	歴史講座事業	【継続】
予算	当初 0千円	決算 36千円 執行率 ー
事業計画	① 歴史講座の開催 年9回	
事業実績	① 歴史講座を9回（9月～3月）実施し、延242名が参加した。 【事業費 35,951円】 時間外勤務手当 35,951円 ※ 執行率について 当初予算0千円のため「ー」表記。 事業実施のため時間外勤務手当を補正し対応した。	
自己評価	A	
評価理由	参加者から「講義内容が大変興味深く充実しており面白く、継続して開催してほしい。」と大変好評である。	
問題点	なし	
今後の取組	講義内容については、更に充実した講座となるようブラッシュアップしながら進めていく。また、参加者のすそ野を広げるよう、興味を引くタイトル、参	

	加しやすい環境づくりなどについて継続して取り組んでいく。
外部評価	A

事業名	文化賞等授与事業	【継続】		
予算	当初 464千円	決算 316千円	執行率	68.1%
事業計画	① 黒石市文化賞等授与式 2月			
事業実績	① 黒石市文化賞等授与式 H30.2.25 津軽伝承工芸館 文化奨励賞 39名・2団体 書道13名 舞踊7名 マーチング5名 ロボット工作競技3名 ポスター・語学・演劇・川柳各2名 俳句・版画・児童文学・絵画各1名 漫画・獅子踊各1団体（うち重複1名） <p style="text-align: right;">【事業費 315,120円】</p> 委員報酬 24,500円 時間外勤務手当 25,368円 事業報償 110,052円 費用弁償 185円 消耗品費 18,481円 印刷製本費 123,660円 通信運搬費 12,874円 ※ 執行率について 受賞者数の見込みより実績が下回ったため。			
自己評価	A			
評価理由	各分野における功績を称え表彰することにより、市民の芸術活動に対する意欲の向上が図られた。団体での受賞も2団体あり、芸術文化活動に携わっている人への一層の励みとなった。			
問題点	なし			
今後の取組	新聞記事等での情報を収集することで受賞候補者が漏れることのないよう配慮し、また、特定の分野にとらわれず新たな分野にも目を向け、継続して表彰を続けることで、芸術文化活動への意欲の高揚につなげたい。			
外部評価	A			

事業名	黒石少年少女合唱団育成事業	【継続】		
予算	当初 545千円	決算 455千円	執行率	83.5%

事業計画	① 定期演奏会の実施 通常練習 週1回 特別練習 年4回 ② 入退団式
事業実績	① 定期演奏会 H29.12.10 スポカルイン黒石大会議室 全14曲演奏 通常練習36回・演奏会前特別練習3回・夏休み特別練習1回 ② 入退団式 H29.5.6 スポカルイン黒石大会議室 入団者2名・団員総数12名 【事業費 454,505円】 時間外勤務手当 101,125円 事業報償 239,000円 消耗品費 18,787円 食糧費 9,860円 通信運搬費 8,567円 保険料 1,000円 会場借上料 62,170円 業務用備品 13,996円
自己評価	B
評価理由	これまでOB・OGの協力を得て定期演奏会の開催に至っていたが、今回は団員のみで定期演奏会の開催が可能となったことで団員の自信に繋がり、今後の成長を期待させる発表会となった。
問題点	少子化や児童生徒を取り巻く環境の変化、価値観の多様化により団員の確保が困難な状況である。
今後の取組	ポスター、チラシでの募集活動や練習の成果を発表する場を多く設け、活動を広く周知し団員の確保に努める。
外部評価	B

事業名	黒石市文化祭補助事業	【継続】
予算	当初 903千円	決算 803千円 執行率 88.9%
事業計画	① 黒石市民文化祭開催に係る経費の一部を補助金として交付	
事業実績	① 黒石市文化協会（33団体・4個人加盟）に対する補助金の交付 【黒石市民文化祭補助金 803,000円】 黒石市民文化祭の会場借上料及び照明・音響業務委託に係る経費を補助 煎茶会 H29.10.14 産業会館 生け花展 H29.10.14-15 産業会館 書道・短文芸・絵画・手工芸展 H29.10.28-29 市スポーツ交流センター 市民茶会 H29.10.29 金平成園・松の湯交流館・市スポーツ交流センター	

	音楽発表 H29.11.3 スポカルイン黒石大会議室 菊花展 H29.11.4-5 市民文化会館センターホール 舞台発表 H29.11.5 スポカルイン黒石メインアリーナ
自己評価	B
評価理由	補助金の交付により、舞台発表の更なる充実と安全性の向上が図られている。また、煎茶会が新たに加えられたほか、体験コーナーの場を増やしたことで来場者に興味を抱かせる内容と会場づくりを工夫している。
問題点	開催期間が長いことで、それぞれの展示や発表をゆっくりと鑑賞できる反面、文化祭の盛り上がりには欠ける面もある。開催時期や開催場所も検討し、より活気のある文化祭ができるよう支援する必要がある。
今後の取組	チラシの毎戸配布やマスコミへの周知により入場者の確保に努めるほか、関係者で打合せを密にし、来場者が楽しめる文化祭を開催する。
外部評価	B

事業名	その他の経費	【継続】		
予算	当初 75千円	決算 63千円	執行率	84.0%
事業計画	① 文化振興の支援を円滑に進めるための事務処理を行う。			
事業実績	① 文化振興の支援に関する事務費 【事業費 62,336円】 時間外勤務手当 28,158円 消耗品費 32,396円 通信運搬費 1,782円			
自己評価	A			
評価理由	黒石市民文化祭を円滑に進めるため、スタッフ協力やポスター作成の支援を行った。			
問題点	なし			
今後の取組	継続して黒石市民文化祭など文化振興の支援を行う。			
外部評価	A			

事業名	黒石市スポーツ賞等授与事業	【継続】		
予算	当初 627千円	決算 386千円	執行率	61.6%

事業計画	① 黒石市スポーツ賞等授与式 2月
事業実績	<p>① 黒石市スポーツ賞等授与式 2月25日 スポーツ功労賞1名・スポーツ特別賞1名・スポーツ賞48名 スポーツ奨励賞41名</p> <p style="text-align: right;">【事業費 385,010円】</p> <p>委員報酬 24,500円 時間外勤務手当 8,638円 事業報償 186,462円 消耗品費 39,816円 印刷製本費 46,980円 通信運搬費 28,414円 会場等借上料 50,200円</p> <p>※ 執行率について 受賞者数の見込みより実績が下回ったため。</p>
自己評価	B
評価理由	各スポーツ競技における功績を称え表彰することで、受賞者の今後の励みとなるとともに、市民のスポーツに対する意識向上を図ることができた。
問題点	例年、受賞候補者の推薦を市内の小・中・高校や市体育協会はもとより、中南部地域の小・中・高校へ依頼しているが、受賞候補者の推薦漏れが懸念される。
今後の取組	今後も、受賞候補者の推薦については、これまで同様に市内外の各小・中・高校等へ依頼するとともに、担当課として新聞記事等に細心の注意を払いながら、受賞候補者の推薦漏れを未然に防止したい。
外部評価	B

事業名	文化財めぐりウォーキング事業	【継続】	
予算	当初 3千円	決算 3千円	執行率 100%
事業計画	① 文化財めぐりウォーキングの開催 6月～10月 (2回)		
事業実績	<p>① 文化財めぐりウォーキングの開催 6月25日 35名 10月1日 40名</p> <p style="text-align: right;">【事業費 2,991円】</p> <p>消耗品費 2,991円</p>		
自己評価	A		
評価理由	限られた予算の中で、6月と10月の2回とも、定員50名に対し7割以上の参加者		

	があり、好評に開催されている。
問 題 点	なし
今後の取組	市指定の文化財だけではなく、くろいし景観資産を含めてのコースを考案し、これまで以上に参加していただける事業としたい。
外 部 評 価	A

事 業 名	スポーツ教室事業	【継続】
予 算	当初 263千円	決算 213千円 執行率 81%
事 業 計 画	① テニス教室等の開催 2月～3月 (5回)	
事 業 実 績	① テニス教室の開催 平成30年2月20日～3月6日 計4回 延べ149名 <div style="text-align: right;">【事業費 212,952円】</div> 時間外勤務手当 50,212円 事業報償 72,000円 消耗品費 25,940円 会場等借上料 64,800円	
自 己 評 価	B	
評 価 理 由	定員50名に対し、各日程で児童から高齢者まで7割以上の参加者があり、スポーツの普及に繋がった。	
問 題 点	今年度で4回目の実施となり、別種目を検討する必要がある。	
今後の取組	誰でも簡単にできるスポーツ・レクリエーション種目を新たに選定し、引き続き参加者から好評を得られるようなスポーツ教室を開催する。	
外 部 評 価	B	

事 業 名	スポーツ推進委員会事業	【継続】
予 算	当初 248千円	決算 173千円 執行率 69.8%
事 業 計 画	① スポーツ推進委員の研修実施 ② スポーツ推進委員による市内各地区団体への、スポーツ・レクリエーション実技指導者の派遣	
事 業 実 績	① スポーツ推進委員の研修実施 青森県スポーツ推進委員中央研修会 (青森市) H29.5.28 スポーツ推進委員中弘南黒平地区研修会 (前期研修) (弘前市) H29.6.3	

	<p>スポーツ推進委員中弘南黒平地区研修会（後期研修）（西目屋村）H29.9.9 青森県スポーツ推進委員実技研修会（青森市） H29.12.9</p> <p>② スポーツ・レクリエーション実技指導者の派遣 9団体 計12回（市内各地区団体・小学校）</p> <p style="text-align: right;">【事業費 172,176円】</p> <p>報酬 4,000円 時間外勤務手当 18,101円 事業報償 81,000円 費用弁償 5,254円 消耗品費 2,485円 通信運搬費 3,686円 保険料 27,750円 負担金 29,900円</p> <p>※ 執行率について 報酬と費用弁償が当初予算の見込みを下回ったため。</p>
自己評価	B
評価理由	スポーツ推進委員3名が各研修会に参加し、自己啓発や知識向上を図った。 また、新規委員を確保することができた。
問題点	15名全てのスポーツ推進委員が各研修会に出席することが難しかった。
今後の取組	スポーツ推進委員に、市民へのスポーツ・レクリエーション指導の必要性を 認識していただきながら、そのために必要な技術向上が図られるよう、参加を 促す。
外部評価	B

事業名	青森県民駅伝競走大会事業			【継続】		
予算	当初	341千円	決算	359千円	執行率	105.3%
事業計画	① 第25回青森県民駅伝競走大会への参加支援					
事業実績	<p>① 第25回青森県民駅伝競走大会への参加支援 H29.9.3 総合7位・市の部5位</p> <p style="text-align: right;">【事業費 358,582円】</p> <p>時間外勤務手当 74,582円 保険料 2,000円 補助金 282,000円</p> <p>※ 執行率について 事業実施のため、時間外勤務手当を流用で対応したため。</p>					

自己評価	A
評価理由	不足していた大学生選手を確保したことで、前回大会より順位を上げ、若手長距離選手の育成と市民のスポーツ意識の高揚に繋がった。 また、指定区間の条件変更により、女子選手確保の労力が軽減され、十分な体制を整えることができた。
問題点	なし
今後の取組	長距離選手の育成と、市民のスポーツへの関心を高めるため、参加支援を継続する。
外部評価	A

事業名	学校施設開放事業 【継続】		
予算	当初 489千円	決算 277千円	執行率 56.6%
事業計画	① 市内10小学校での学校施設開放の実施		
事業実績	① 市内10小学校での学校施設開放の実施 利用団体数：52団体 利用者数：29,299名 利用回数：1,683回 利用時間：延3,510時間 <div style="text-align: right;">【事業費 276,872円】</div> 時間外勤務手当 10,783円 燃料費 258,703円 通信運搬費 7,386円 ※ 執行率について 燃料費に要した経費が当初予算を下回ったため。		
自己評価	A		
評価理由	開放校が1減となったが、他の開放校に分散することで、各団体が活動を継続することができた。		
問題点	なし		
今後の取組	適正配置完了後の利用計画の作成や、新規開放校を確保するため、中学校と協議する必要がある。		
外部評価	A		

事業名	青森県民体育大会事業 【継続】		
予算	当初 983千円	決算 802千円	執行率 81.6%

事業計画	① 第72回市町村対抗青森県民体育への参加支援
事業実績	① 第72回市町村対抗青森県民体育への参加支援 H29.7.22—23 7.29—30 市の部8位 【事業費 801,544円】 食糧費 83,000円 委託料 693,544円 会場等借上料 25,000円
自己評価	A
評価理由	役員選手団252名が16競技20種目に参加することにより、競技スポーツの技術向上と市民のスポーツに対する意識の高揚が図られた。
問題点	なし
今後の取組	今後も、市体育協会と連携を密にしながら、競技スポーツの技術向上と市民のスポーツに対する意識の高揚を図りたい。
外部評価	A

事業名	運動公園有料施設管理事業			【継続】
予算	当初 29,384千円	決算 27,420千円	執行率	93.3%
事業計画	① 運動公園有料施設の適切な維持管理の運営			
事業実績	① 運動公園有料施設の適切な維持管理の運営 合計利用者数：1,859件 37,970名 (1) 野球場：87件 7,093名 (2) 陸上競技場：83件 5,338名 (3) 庭球場：1,157件 9,520名 (4) 弓道場：453件 1,190名 (5) 運動広場：30件 3,242名 (6) 多目的芝生広場：19件 380名 (7) プール：30日 11,207名 【事業費 27,419,390円】 光熱水費 1,686,716円 修繕料 162,000円 通信運搬費 65,859円 委託料 25,220,775円 業務用備品 284,040円			
自己評価	A			

評価理由	指定管理者は、野球場、陸上競技場及び庭球場等の維持管理業務について計画的に実施するとともに、予算も有効に活用している。
問題点	なし
今後の取組	今後も、施設の工事等を指定管理者と協議しながら計画的に実施し、市民がスポーツに親しむことができる環境の整備を図る。
外部評価	A

事業名	その他の事業 【継続】		
予算	当初 83,035千円	決算 88,092千円	執行率 106%
事業計画	① スポカルイン黒石等の適切な施設の維持管理の運営 ② その他の事業に伴う事務費等		
事業実績	① スポカルイン黒石等の適切な施設の維持管理の運営 ・ スポカルイン黒石 合計利用者数：140,051名 ○アリーナ：302件 54,339名 ○一般開放：318件 11,707名 ○会議室（大・中）：791件 20,832名 ○親子アリーナ：799件 18,772名 ○フィットネストレーニング室：29,942名 ○健康ウォーク：4,459名 ・ 市スポーツ交流センター 合計利用者数：2,535件 35,031名 ○アリーナ：1,703件 28,246名 ○音楽室：203件 1,203名 ○調理室：70件 588名 ○研修室：156件 1,239名 ○会議室：298件 3,130名 ○工作室：105件 625名 ・ 市立武道場 利用者数：265件 3,023名 <div style="text-align: right;">【事業費 87,677,795円】</div> 燃料費 761,400円 光熱水費 4,884,053円 修繕料 3,754,080円 委託料 76,239,957円 会場等借上料 375,105円		

	工事請負費 1,663,200円 ② その他の事業に伴う事務費等 <div style="text-align: right;">【事業費 413,468円】</div> 時間外勤務手当 121,166円 消耗品費 53,092円 通信運搬費 21,210円 負担金 13,000円 補助金 95,000円 積立金 110,000円 ※ 執行率について 事業実施のため、修繕料、委託料及び工事請負費を補正で対応したため。
自己評価	A
評価理由	指定管理者は、スポカルイン黒石や市スポーツ交流センター及び市立武道場の維持管理業務について計画的に実施するとともに、予算も有効に活用している。
問題点	なし
今後の取組	今後も、施設の工事等を指定管理者と協議しながら計画的に実施し、市民がスポーツに親しむことができる環境の整備を図る。
外部評価	A

事業名	黒石市スポーツ推進計画策定事業			【新規】		
予算	当初	161千円	決算	106千円	執行率	65.8%
事業計画	① 黒石市スポーツ推進計画策定委員会の開催 8月～3月 (3回) ② 黒石市スポーツ推進計画の印刷					
事業実績	① 黒石市スポーツ推進計画策定委員会の開催 平成29年11月2日・12月26日・平成30年1月30日 計3回 ② 黒石市スポーツ推進計画の印刷 市立小・中学校ほか 148部 <div style="text-align: right;">【事業費 105,185円】</div> 委員報酬 69,500円 時間外勤務手当 17,276円 費用弁償 2,923円 消耗品費 11,950円 通信運搬費 3,536円					

	※ 執行率について 委員報酬と通信運搬費の費用が当初予算を下回ったため。
自己評価	A
評価理由	本市のスポーツ推進の道標となる計画を策定することができた。
問題点	なし
今後の取組	計画に記されている4つの基本目標に基づき、市民一人ひとりが、各年齢層でそれぞれのライフスタイルに応じて、スポーツを「する」「みる」「学ぶ」楽しさを知り、主体的にスポーツ活動を行うことができる環境づくりに努める。また、本市競技力の維持・向上を図る。
外部評価	A

事業名	市民運動会事業	【新規】
予算	当初 409千円	決算 450千円 執行率 110%
事業計画	① 市民運動会の開催（市内10地区合同） 8月	
事業実績	① 市民運動会の開催（市内10地区合同） 8月27日 約600名 大玉運び・お玉ボール運び・グラウンドゴルフリレー・綱引き風船割り 大縄跳び・玉入れ・借り物競走・地区対抗リレー 計8種目 【事業費 449,788円】 時間外勤務手当 64,330円 事業報償 102,080円 消耗品費 30,034円 通信運搬費 2,930円 保険料 25,000円 補助金 225,414円 ※ 執行率について 事業実施のため、時間外勤務手当、事業報償及び消耗品費を流用で対応。	
自己評価	B	
評価理由	平成18年度で終了した市民体育大会以来の、市内全地区が一堂に会して開催する事業ということもあり、当初は各地区において参加する人が少ないという声も聞こえていたが、各地区協議会の方々の協力により多くの参加を得て、盛況に終了することができた。	
問題点	初めての試みでもあり、各地区協議会への連絡事項が遅れたことや、市内の他団体との行事が重なり、各地区において参加者が少ない要因の一つとなっ	

	た。
今後の取組	庁内各課、各団体の事業実施状況を把握して開催日を設定する必要がある。 また、参加を促すための改善策や新規種目を検討する。
外部評価	B

第4章 事務点検評価委員による意見（総評）

黒石市教育委員会事務点検評価委員長 大澤 潤逸

平成29年度の各課における各事業は、それぞれの事業計画に基づいて事業実績、予算執行率ともに適正に実施されていると考える。また、実績の評価や、今後の取り組み・課題も概ね適切であると評価できる。

今回、初めての評価であるが、前年度と比べて大きく変更になっている点は、教育施策に基づいて4課の事務分掌が明確に示され、事業が細分化されたことにより、事業内容に大きな変化は見られないが、評価事業が21事業から81事業になったことであろうと思われる。このことにより、一つ一つの事業が明確になり、一般市民等第三者に対し、組織や事業内容の周知を図る公表は、これまで以上に理解しやすいものになったと考える。

ただ、事業内容によっては補助金等の関係から、やむを得ないところがあるのかもしれないが、敢えて別にしなくてもよいと思われるものもある。

また、事業については81事業のうち新規事業が9事業であるが学校統廃合関連や公民館改修等である。管理的(固定的)事業が継続事業となるのは当然であるが、人づくりなどのソフト面での新事業、当年度からの計画された子ども議会や教育講演会等のような事業が、今後さらに増えることを期待したい。

評価に関連して、PDCAサイクルとよく言われ、「企画・立案」、「実施」、「点検・評価」はもちろん大事だが、点検・評価はその結果をフィードバックし、新たな取組に反映させるためのAction「改善」が、最も大事であると考える。何故なら、点検・評価をしても次年度に繋がらなければ意味がないからである。そのためにも課題を明確にし、今後の取り組みについては、問題なし、A評価であっても、さらに事業を充実させるため、より具体的な改善策について創意・工夫を期待したいものである。

また、事業のマンネリ化を防ぐためには、これまでの事業内容や実績に関して精査し、目的を達成し廃棄してもよい事業、統合した方がより効果的な事業、さらには新しく企画しなければならない事業について、スクラップ・アンド・ビルドで展開していかなければならないと考える。

市は、平成29年2月23日に「黒石市教育大綱」を策定しました。29年度の事業に反映させるためには4月までと期間も短く、29年度の教育予算も確定していることから、この大綱に沿った施策を具体化するための事業を策定することは無理であったと考える。しかし、計画期間が平成31年3月までということからすれば、当然ながら平成30年度からの事業には、大綱の施策を実現する事業が盛り込まれるものと考えており、その内容に大いに期待するものである。

さらに、平成32年度に統合して新しく生まれ変わる小学校に対しては、市民の関心も高いことから、円滑なスタートを切れるような継続事業を実施していただきたいものである。

また、それに伴う空校舎の利活用についても、検討を望むものである。

改正された新たな教育委員会制度では、教育長へのチェック機能の強化のほか会議の透明化が求められ、会議の議事録の作成・公表などが努力義務とされました。今後とも「開かれた教育委員会」として推進するため、より一層、市民への分かりやすい情報を提供するよう努めていただきたいと思います。

点検・評価の結果全体を通して、「評価理由」「問題点」「今後の取組」が分かりやすく記載され、今後も、教育委員会の考え方がより深く理解できるよう、創意工夫をこらし、報告書の作成に努めていただきたいと思います。

この事務点検評価は、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たすことを目的として実施し、その結果を報告書としてまとめることとされています。そのためには、結果の分析が大事で、一部にどういう分析をしているのか分かりづらい表記が見受けられます。いわゆるPDCAサイクルを意識した点検評価になっているのか、今一度検討して欲しいと思います。

また、評価理由が希薄、すなわち自己評価の根拠が乏しく、評価理由から自己評価を理解することが困難なケースが見受けられますので、その根拠を明確にし、次の改善に結びつけていただきたいと思います。

「黒石市教育大綱」の策定、財務会計システムの導入に伴い、新たな形でのスタートとあります。委員会内各課の業務内容は分かりますが、黒石市教育大綱との繋がりが分かりづらいのが残念です。

最後に、これまでの繰り返しになりますが、次の2点に留意するよう要望します。

- 1 点検評価について、毎年、充実が図られ、分かりやすくなってきていますが、まだ一部に改善がなされたとは言い難いものも見受けられます。教育委員会の事務を質的に高め、着実に事業の効果をあげる観点から、さらなる創意・工夫に努めることを期待します。
- 2 教育大綱に基づき、様々な課題に対して着実に取り組みを進めるためにも、自己点検評価を充実させ、効果的な施策展開がなされるよう一層努力されることを期待します。

教育は、市民にとって身近で関心の高い行政分野であります。報告書の点検及び評価結果を拝見すると、自己評価A、問題点なし、今後の取組みは今までどおりといった内容がほとんどですが、より広く問題点を探り、より良い教育を目指す政策を立て、教育行政にご尽力いただきたいと思います。特に適正配置による学校統合は、学校のみならず地域や市民生活に大きな変化をもたらす政策となるので、それに向けた「今」がかなり重要な時期であると思います。

① 学校教育課

学校適正配置事業にあたり、大変ご苦勞されていることと思います。説明会を開催しただけでは、全ての住民が納得することは難しいわけですが、例えば、サイトを利用し、疑問、質問に対する答え（FAQ）などで丁寧に回答し、統合準備委員会での活動や進捗状況といった情報開示をもっと積極的に行い、より多くの市民に知ってもらうことが、とても重要であると思います。

② 社会教育課

地域力向上事業、学社連携研修会事業がかなり、重要な役割を担っています。地域の活性化の基本は、学校を通じての保護者のつながりです。

ところが、学校経営の中で教員の働き方改革の一環で職務軽減のため部活動がなくなりつつあります。その結果、他学年の児童、教員、保護者間の接点が劇的に少なくなっています。保護者間のつながりが希薄になることは、すなわち、地域のコミュニティの衰退に直結し、地域内の学校がなくなると、地域のコミュニティの衰退に拍車がかかるのではないかと懸念されます。

③ 文化スポーツ課

学校開放事業において、学校の閉校によりその体育館利用ができなくなった結果、利用団体に利用回数を減らすための調整という苦渋の利用計画がなされています。事業計画に対する実績は、評価Aかもしれない。しかし、スポーツ推進振興の目的にもとづき、施設の減少だけに対応だけでなく、現在使える施設の利用時間の延長や、閉校になった体育館を、ただ単にできないではなく、どうしたら利用できるかの方策を考える等、市民にとってもっと前向きな事業計画を立て、名実共に学校施設「開放」事業であってほしいと期待します。

あわせて、スポーツ推進員を軸とし指導者の確保も急務であります。子どもたちがスポーツをする機会を作らなければ、どんどんスポーツ人口が減っていくのは当然の結果です。

総じて、今後、各事業が、黒石市教育大綱に基づく目的をもった事業計画なのか、そして現状と照らし合わせ本当に必要なのか、もっと別な形で行ったほうがいいのか、今一度見直す必要があると思います。身の丈に合った計画、できることをできる範囲での計画ではなく、市民にとって必要なことをどのようにしたら成し遂げていけるかを念頭に置き、黒石市教育委員会が一丸となり、次世代を担う大切な人づくりの行政機関であるという高い認識のもと、前向きにそして辛抱強く遂行していただきたいと思います。